

令和3年度使用
中学校用教科用図書について
の調査審議結果 (⑦)

目 次

国語	1 頁	～	2 頁	音楽（一般）			18 頁
書写	3 頁	～	4 頁	音楽（器楽合奏）			19 頁
社会（地理的分野）	5 頁	～	6 頁	美術			20 頁
社会（歴史的分野）	7 頁	～	9 頁	保健体育	21 頁	～	22 頁
社会（公民的分野）	10 頁	～	11 頁	技術・家庭（技術分野）			23 頁
地図			12 頁	技術・家庭（家庭分野）			24 頁
数学	13 頁	～	15 頁	英語	25 頁	～	26 頁
理科	16 頁	～	17 頁	道徳	27 頁	～	29 頁

令和3年度使用教科用図書審議結果 ⑦

国語

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい国語 1 新しい国語 2 新しい国語 3	・単元で身に付けるポイントが明確になるよう、「言葉の力」という囲みで示している。 ・学習を支えたり、汎用的に活用したりすることができるよう、「基礎編」に「学びを支える言葉の力」を設定している。 ・主体的に取り組めるよう、単元の導入として日常生活の場面を漫画で表した「学びの扉」を掲載している。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「情報の扱い方に関する指導の改善・充実」に関連して、「情報の扱い方」をまとめて確認できるよう、「学びを支える言葉の力」に掲載している。	【知識・技能】 ・情報の扱い方を「基礎編」の「学びを支える言葉の力」、「資料編」で示し、単元の中では必要な内容を確認できるよう示している。 ・語彙や表現に関連し、単元の中に「広がる言葉」、「資料編」の「言葉を広げよう」にはテーマごとの表現を示している。また、「漢字道場」の内容として「他教科で学ぶ漢字」を設定している。「学習用語一覧」を掲載している。 ・言葉を通して感性や表現に触れたり想像力を養ったりすること等に関連し、単元の扉に7つの詩(1年)、短歌(2年)、俳句(3年)を示している。 【思考・判断・表現】 ・「学びを支える言葉の力」に、思考の仕方についてまとめて示し、1年生、2年生の資料編には「発想・整理の方法」を示している。 ・自分の言葉でまとめる学習活動を設定したり、単元における「言葉の力」に、目標に向かうための説明を記載したりしている。 ・「調べて分かったことを伝えよう(「書くこと」)」(1年)、「説得力のある提案をしよう(「話すこと・聞くこと」)」(2年)、「場面に応じて話そう(「話すこと・聞くこと」)」(3年)等、知識や技能を活用する教材を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生徒が見通しをもちながら主体的に学習を進められるよう、単元の目標や漫画形式の「学びの扉」、「てびき」、要点を示す「言葉の力」を掲載するとともに、学習を振り返る活動を設定している。 ・「基礎編」の「つながる・広がる」に、身に付けた資質・能力を他の学習や生活に生かす手立てを示している。 【かわさき教育プラン】 ・豊かな心の育成に関連して「読書への招待」「本の世界を楽しもう」で読書教材や読書活動、テーマごとの図書等を示し、単元の中で学習内容と関連する図書を示している。 ・現代的な諸課題に柔軟かつたくましく対応できる力に関連して、SDGsに関わるもの等、現代的な諸課題に関連する教材を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に、各単元の指導事項等を確認できる「〇年で学ぶこと」を示している。 ・教科書の構成や使い方、領域別に身に付ける力と教材との関連を巻頭で示している。 ・本編の後ろに「基礎編」「資料編」を設定している。 ・ページの下方に新出漢字や言葉の意味等を掲載している。 ・古典の朗読音声や「話すこと・聞くこと」の活動動画、文法ゲーム等を活用することができるよう二次元コードを設定している。 【分量・装丁】 ・判型はB5判にしている。	【読みやすさの工夫】 ・独自の書体の活字を用いている。 ・記号やイラスト等を用いて示したり説明したりしている。 ・「読むこと」の教材では各行の下に点、5行ごとに数字を付している。 ・「全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています」と記載している。
15 三省堂	現代の国語 1 現代の国語 2 現代の国語 3	・見通しをもって主体的に学べるよう、巻頭に「領域別教材一覧」を示している。 ・汎用的に活用できる「読み方」を身に付けられる、「読み方を学ぼう」のページを掲載している。 ・自分の考えを形成したり、言葉で表現したりすることができるよう、考えや学習の振り返りを自分の言葉で書く活動を設定している。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「情報の扱い方に関する指導の改善・充実」に関連して、「情報の扱い方」をまとめて確認できるよう、「思考の方法」や「資料編」に掲載している。	【知識・技能】 ・情報の扱い方を「資料編」で示し、単元の中では必要な内容を確認できるよう示している。「複数の情報を関連づけて考えをまとめる」を掲載している。 ・語彙や表現に関連し、単元の中に「語彙を豊かに」、「資料編」の「語彙の広がり」にはテーマごとの表現を示している。また、「言葉発見」の教材を設定している。「学習用語辞典」を掲載している。 ・言葉を通して感性や表現に触れたり想像力を養ったりすること等に関連し、「歌の言葉」に歌謡曲の歌詞を掲載している。 ・物語、和歌、漢文等、複数のジャンルの古典作品を掲載し、「資料編」にも古典作品に関連する資料を掲載している。 【思考・判断・表現】 ・「読み方を学ぼう」のページや、単元ごとの「思考の方法」を示し、「資料編」には『「思考の方法」一覧』を示している。 ・自分の言葉でまとめる学習活動を設定したり、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元で、目標に向かうための「ポイント」を記載したりしている。 ・「調べたことを整理してわかりやすくまとめる(「書くこと」)」(1年)、「資料や機器を活用して効果的に発表する(「話すこと・聞くこと」)」(2年)、「状況に応じて話す力を養う(「話すこと・聞くこと」)」(3年)等、知識や技能を活用する教材を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生徒が見通しをもちながら主体的に学習を進められるよう、単元の目標や、学習の手引となる「学びの道しるべ」、要点を示す「ポイント」、「読み方を学ぼう」のページを掲載するとともに、学習を振り返る活動を設定している。 ・単元の中の「学びを広げる」に、学習した内容や身に付けた資質・能力を生かして行うことができる発展的な課題を示している。 【かわさき教育プラン】 ・豊かな心の育成に関連して「読書の広場」「読書活動」で読書教材や読書活動、テーマごとの図書等を示し、単元の中で、学習内容と関連する図書を示している。 ・現代的な諸課題に柔軟かつたくましく対応できる力に関連して、SDGsに関わるもの等、現代的な諸課題に関連する教材を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に、各単元の指導事項等を確認できる「領域別教材一覧」を示している。 ・教科書の構成や使い方、領域別に身に付ける力と教材との関連を巻頭で示している。 ・本編の後ろに「読書の広場」「資料編」を設定している。 ・ページの下方に新出漢字や言葉の意味等を掲載している。 ・「読み方を学ぼう」の内容を読書教材で生かす図解例や、古典教材の補充資料を活用することができるよう二次元コードを設定している。 【分量・装丁】 ・判型はB5判にしている。	【読みやすさの工夫】 ・独自の書体の活字を用いている。 ・記号やイラスト等を用いて示したり説明したりしている。 ・「読むこと」の教材では5行ごとに数字を付している。 ・「ユニバーサルデザインに配慮して編集しています」と記載している。
17 教出	伝え合う言葉 中学国語1 伝え合う言葉 中学国語2 伝え合う言葉 中学国語3	・単元で身に付けるポイントを明確にし、主体的に取り組めるよう「学びナビ」を掲載している。 ・読書への興味を高めるよう、単元の後にテーマごとに分けて、教材の内容等と関連した図書を紹介するページを設定している。 ・社会生活とのつながりに関連し、「言葉と社会」の教材や、SDGsに関連する教材を単元として設定している。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「情報の扱い方に関する指導の改善・充実」に関連して、「情報の扱い方」をまとめて確認できるよう、「学びナビ」に掲載している。	【知識・技能】 ・情報の扱い方を、単元の言語活動に必要な内容を確認できるよう、単元の前に「学びナビ」として示している。 ・語彙や表現に関連し、単元の中に「言葉と表現」「この教材で学ぶ言葉」を示し、折込の「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」にテーマごとの表現を示している。また、「言葉と社会」の教材を設定している。「学習に必要な用語(索引)」を掲載している。 ・言葉を通して感性や表現に触れたり想像力を養ったりすること等に関連し、「四季のたより」に短歌や俳句を掲載している。 ・物語、和歌、漢文等、複数のジャンルの古典作品を掲載し、「言葉の自習室」にも古典作品に関連する資料を掲載している。 【思考・判断・表現】 ・「学びナビ」の中で思考の仕方について示し、1年生の「言葉の自習室」には、「アイデアの出し方」を示している。 ・自分の言葉でまとめる学習活動を設定したり、「学びナビ」の「ここが大事」に、単元の目標に向かうための説明を記載したりしている。 ・「読み手を意識して報告文を整える(「書くこと」)」(1年)、「説得力のある提案をする(「話すこと・聞くこと」)」(2年)、「表現の工夫を評価してスピーチをする(「話すこと・聞くこと」)」(3年)等、知識や技能を活用する教材を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生徒が見通しをもちながら主体的に学習を進められるよう、単元の目標や、学習の手引となる「学びナビ」や「みちしるべ」、要点を示す「ここが大事」の欄を掲載するとともに、学習を振り返る活動を設定している。 ・単元の中の「学びを生かそう」に、身に付けた資質・能力を他の学習や生活に生かす手立てを示している。 【かわさき教育プラン】 ・豊かな心の育成に関連して「読書への招待」で読書教材や読書活動等を示し、単元後の「広がる本の世界」で、単元の学習内容と関連するテーマの図書を示している。 ・現代的な諸課題に柔軟かつたくましく対応できる力に関連して、SDGsに関わるもの等、現代的な諸課題に関連する教材を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に、各単元の指導事項等を確認できる「言葉の地図」を示している。 ・教科書の構成や使い方、領域別に身に付ける力と教材との関連を巻頭で示している。 ・本編の後ろに「言葉の自習室」「折込」を設定している。 ・ページの下方に新出漢字や言葉の意味等を掲載している。 ・話し合いの方法(ワールド・カフェ等)を確認する動画や、古典教材に関連する資料、ワークシート等を活用することができるよう二次元コードを設定している。 【分量・装丁】 ・判型はB5判にしている。	【読みやすさの工夫】 ・独自の書体の活字を用いている。 ・記号やイラスト等を用いて示したり説明したりしている。 ・「読むこと」の教材では各行の下に点、5行ごとに数字を付している。 ・「カラーユニバーサルデザインに配慮しています」と記載している。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との 関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
38 光村	国語1 国語2 国語3	<p>・学習を支えたり汎用的に活用したりできるよう、「情報整理のレッスン」「思考のレッスン」「学習の窓」の一覧を掲載している。</p> <p>・表現力を高めるよう、「もっと『伝わる』表現を目ざして」の教材を各学年に掲載している。</p> <p>・読書への興味を高めるよう、読書教材において、テーマを設定し、複数の作品の一部を示している。</p>	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「情報の扱い方に関する指導の改善・充実」に関連して、「情報の扱い方」をまとめて確認できるよう、「情報整理のレッスン」や「思考のレッスン」に掲載している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報の扱い方を「情報整理のレッスン」「思考のレッスン」で示し、単元の中では必要な内容を確認できるよう示している。 語彙や表現に関連し、単元の中に「言葉を広げる」「学習で用いる言葉」、「学習を広げる」の「語彙を豊かに」にはテーマごとの表現を示している。また、「もっと『伝わる』表現を目ざして」の教材を設定している。「[索引]学習のための用語一覧」を掲載している。 言葉を通して感性や表現に触れたり想像力を養ったりすること等に関連し、「季節のしおり」に詩や短歌、俳句、小説の一節等を掲載している。 物語、和歌、漢文等、複数のジャンルの古典作品を掲載し、「学習を広げる」にも古典作品に関連する資料を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「思考の地図」に思考の仕方をまとめて示し、「思考のレッスン」を設定するとともに、「学習を広げる」に『「思考のレッスン」一覧』を示している。 自分の言葉でまとめる学習活動を設定したり、単元における「学習の窓」に目標に向かうための説明を記載したりしている。 「情報を整理して書こう(「書くこと」)」「(1年)」、「魅力的な提案をしよう(「話すこと・聞くこと」)」「(2年)」、「説得力のある構成を考えよう(「話すこと・聞くこと」)」「(3年)等、知識や技能を活用する教材を設定している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が見通しをもちながら主体的に学習を進められるよう、単元の目標や、学習の手引となる「学習」、要点を示す「学習の窓」の欄を掲載するとともに、学習を振り返る活動を設定している。 単元の中の「つなぐ」「生活(読むこと)に生かす」に、身に付けた資質・能力を他の学習や生活に生かす手立てを示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊かな心の育成に関連して「読書生活を豊かに」「読書に親しむ」で読書教材や読書活動、テーマごとの図書等を示し、単元の中で、学習内容と関連する図書を示している。 現代的な諸課題に柔軟かつたくましく対応できる力に関連して、SDGsに関わるもの等、現代的な諸課題に関連する教材を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関する構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭に、各単元の指導事項等を確認できる「学習の見通しをもとう」を示している。 教科書の構成や使い方、領域別に身に付ける力と教材との関連を巻頭で示している。 本編の後ろに「学習を広げる」を設定している。 ページの下方に新出漢字や言葉の意味等を掲載している。 古典の朗読音声や「話すこと・聞くこと」の活動動画、作家や筆者のインタビュー動画等を活用することができるよう二次元コードを設定している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 判型はB5判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 独自の書体の活字を用いている。 記号やイラスト等を用いて示したり説明したりしている。 「読むこと」の教材では5行ごとに数字を付している。 「カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の観点から、全てのページについて専門家による校閲を行っています」と記載している。

令和3年度使用教科用図書審議結果 ⑦

書写

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい書写 一・二・三年	・単元において、「文字を正しく整えて速く書くためのポイント」を「書写のかぎ」として示している。 ・振り返りの活動として、自分がわかったことや考えたことを説明する「振り返って話そう」を設定している。 ・生活での活用に関連した学習活動を、「生活に広げよう」等に設定している。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「我が国の言語文化に関する指導の改善・充実」に関連して、文字文化に親しむことができるよう、「文字のいずみ」を掲載している。	【知識・技能】 ・文字を書く上での要点を「書写のかぎ」と名付け、単元において囲みで示している。 ・基本的な点画の運筆を確認して書くことができるよう、「基本の点画の書き方」を掲載している。 ・毛筆の学習事項を生かして書くことができるよう、硬筆で書く欄やページを設けている。 ・「文字のいずみ」において伝統的な用具・用材、文字の成り立ちと移り変わり等の文字文化を紹介している。 ・書き初めの手本として、巻末に1年生は「夢の実現」「温故知新」、2年生は「感謝する心」「信念を貫く」、3年生は「希望に輝く春」「生命を尊ぶ」を掲載している。 ・小学校書写、高等学校書道との円滑な接続に向けて、「小学校の学習を振り返ろう」「古典をもとに」を掲載している。 ・技能を習得する際に活用できるよう、課題の文字を書く動画を見ることができる二次元コードを設定している。 【思考・判断・表現】 ・効果的に文字を書く力の育成に向けて、「生活に広げよう」で生活での活用に関連した学習活動を設定している。 ・比較や観察から、文字を書く際のポイントを自分で考えられるよう、「見つけよう」という学習過程を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・巻頭の「書写で学ぶこと」で、書写学習の意義や身に付ける力、3年間の学習の見通しを示している。 ・単元の最後に自己の学びについて説明する「振り返って話そう」を設定している。 ・学習や生活で活用できるよう、巻末の「書写活用ブック」に手紙等の生活場面における書式を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・「共生・協働」に関連して、課題解決や理解を深めるために自分の考え等を説明したり、話し合ったりする学習活動を設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・見通しをもって学習できるよう、巻頭に見開きで「書写で学ぶこと」、1ページで「書写の学習の進め方」を示している。 ・全体を学年別の構成にしている。 ・単元を「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「振り返って話そう」で構成している。 ・書き初め以外の毛筆の課題文字を1ページの大きさに掲載している。 ・課題の文字を書く動画や、関連する国語の教科書の紙面等を見ることができる二次元コードを設定している。 【分量・装丁】 ・判型はAB判である。	【読みやすさの工夫】 ・毛筆では、朱墨を用いた文字手本を掲載して徳先の動きを示すとともに、「基本点画の書き方」で、イラストや擬態語を用いて筆圧、筆使いを示している。 ・記号やキャラクター、イラスト、写真を用いて内容を示したり説明したりしている。 ・「ゴシック体には」「ユニバーサルデザインフォントを採用しています」と記載している。
15 三省堂	現代の書写 一・二・三	・単元において、文字を書く上でのポイントや具体的な字形の例を「書き方を学ぼう」で示している。 ・毛筆の学習事項を生かして硬筆で書く「書いて身につけよう」のページを設定している。 ・生活での活用に関連した学習活動を、「やってみよう」等に設定している。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「我が国の言語文化に関する指導の改善・充実」に関連して、文字文化に親しむことができるよう、「文字の変遷」や「身のまわりの文字」を掲載している。	【知識・技能】 ・単元における「書き方を学ぼう」の欄に、文字を書く上での要点や例を示している。 ・基本的な点画の運筆を確認して書くことができるよう、「点画の種類と筆使い」を掲載している。 ・毛筆の学習事項を生かして書くことができるよう、硬筆で書く「書いて身につけよう」のページを設けている。 ・「学びを広げる」や「資料編」において伝統的な用具・用材、文字の変遷等の文字文化を紹介している。 ・書き初めの手本として、巻末に1年生は「日進月歩」「輝く生命」、2年生は「燃ゆる思い」「温故知新」「平和の鐘」「大望を抱く」、3年生は「旅立ちの時」「山光澄我心」を掲載している。 ・小学校書写、高等学校書道との円滑な接続に向けて、「基礎編」「書の古典」等を掲載している。 ・技能を習得する際に活用できるよう、書く際の姿勢や筆の運び方の動画を見ることができる二次元コードを設定している。 【思考・判断・表現】 ・効果的に文字を書く力の育成に向けて、「やってみよう」で書写の生活での活用に関連した学習活動を設定している。 ・比較や観察から、文字を書く際のポイントを自分で考えられるよう、「見つけよう・考えよう」という学習過程を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・巻頭の目次ページや「この教科書で学ぶ皆さんへ」で、書写で目指す力や3年間の学習の見通しを示している。 ・単元目標に対する「学習を振り返ろう」と、自分が学んだことを書く「自分の言葉でまとめよう」を設定している。 ・学習や生活で活用できるよう、巻末の「資料編」に手紙等の生活場面における書式や、「毛筆補充教材」を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・「共生・協働」に関連して、書く際の書体を考える単元等で、課題解決や理解を深めるために話し合う活動を設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・見通しをもって学習できるよう、巻頭に見開きで「自分の文字をよりよくするために」「単元の基本構成」「学習の流れ」を示している。 ・全体を、「基礎編」「本編」の構成にしている。 ・「本編」は学年別の構成にしている。 ・単元を「目標を確かめよう」「書き方を学ぼう」「見つけよう・考えよう」「毛筆で書こう」「学習を振り返ろう」「書いて身につけよう」「自分の言葉でまとめよう」で構成している。 ・本編の毛筆の課題文字を、1年生の最初のものは見開きで掲載し、それ以外は1ページの大きさに掲載している。 ・書く際の姿勢や構え方、筆の運び方、用具の扱い方等の動画を見ることができる二次元コードを設定している。 【分量・装丁】 ・判型はB5判である。	【読みやすさの工夫】 ・毛筆では、朱墨を用いた文字手本を掲載して徳先の動きを示すとともに、「基礎編」や「点画の種類と筆使い」で、イラストを用いて筆圧や筆使いを示している。 ・「ユニバーサルデザインに配慮して編集しています」と記載している。
17 教出	中学書写	・巻頭に、学習の内容や手順、「話し合いのポイント」を示した「学習の進め方」のページを見開きで掲載している。 ・「試し書き」をした自分の字を課題文字と比べ、文字を書く上での要点や自己の課題に気づくという学習過程を設定している。 ・生活での活用に関連した学習活動を、各学年の教材として設定している。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「我が国の言語文化に関する指導の改善・充実」に関連して、文字文化に親しむことができるよう、「コラム」を掲載している。	【知識・技能】 ・毛筆単元では、硬筆の「試し書き」を課題文字と比べ、文字を書く上での要点に気付くという展開を設定している。 ・基本的な点画の運筆を確認して書くことができるよう、「筆使いー基本点画ー」を掲載している。 ・毛筆の学習事項を生かして書くことができるよう、硬筆で書く欄や「学習を生かして書く」のページを設けている。 ・「コラム」において伝統的な用具・用材、文字の変遷等の文字文化を紹介している。 ・書き初めの手本として、巻末に1年生は「新たな決意」「世界遺産」、2年生は「生命の尊重」「伝統の継承」、3年生は「友好の精神」「真理の探究」を掲載している。 ・小学校書写、高等学校書道との円滑な接続に向けて、「筆使いー基本点画ー」「芸術としての書道」等を掲載している。 ・技能を習得する際に活用できるよう、課題の文字を書く動画を見ることができる二次元コードを設定している。 【思考・判断・表現】 ・効果的に文字を書く力の育成に向けて、「学校生活に生かして書く」(1年)、「学習を生かして書く」(2年)、「三年間の学習の成果を生かそう」(3年)で、生活での活用に関連した学習活動を設定している。 ・比較や観察から、文字を書く際のポイントを自分で考えられるよう、「考えよう」という学習過程を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・巻頭の「目的に合わせて書こう」「書写をとおして学んでいくこと」で、書写学習の意義や身に付ける力を示している。 ・単元目標に対して自己評価をする「振り返ろう」を設定している。 ・学習や生活で活用できるよう、巻末に手紙等の生活場面における書式や、毛筆の「補充教材集」を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・「共生・協働」に関連して、課題解決や理解を深める話し合いに使える「話し合いのポイント」を「学習の進め方」に示している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・見通しをもって学習できるよう、巻頭に見開きで「学習の進め方」、1ページで「書写をとおして学んでいくこと」を示している。 ・全体を学年別の構成にしている。 ・単元を「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」で構成している。 ・書き初め以外の毛筆の課題文字を、1年生の最初のものは見開きで掲載し、それ以外は1ページの大きさに掲載している。 ・課題の文字を書く動画を見ることができる二次元コードを設定している。 【分量・装丁】 ・判型はAB判である。	【読みやすさの工夫】 ・毛筆では、朱墨を用いた文字手本を掲載して徳先の動きを示すとともに、「基本点画の種類」で、イラストや徳先の写真を用いて筆圧、筆使いを示している。 ・記号やキャラクター、イラスト、写真を用いて内容を示したり説明したりしている。 ・「ユニバーサルデザインフォントを、ゴシック体を使用しています」と記載している。

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
38 光村	中学書写 一・二・三年	<ul style="list-style-type: none"> ・単元において、文字を書く上でのポイントを「学習の窓」の欄に示している。 ・毛筆の学習事項を生かして硬筆で書く「書写ブック」を設定している。 ・生活での活用に関連した学習活動を、「学校生活」「日常生活」等に設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「我が国の言語文化に関する指導の改善・充実」に関連して、文字文化に親しむことができるよう、「コラム」を掲載している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元における「学習の窓」の欄に、文字を書く上での要点を示している。 ・基本的な点画の運筆を確認して書くことができるよう、「漢字を分解してみよう」を掲載している。 ・「生かそう」や「書写ブック」において、毛筆の学習事項を生かして書くことができるよう、硬筆で書く欄やページを設けている。 ・「コラム」や巻頭において伝統的な用具・用材や、文字の歴史等の文字文化を紹介している。 ・書き初めの手本として、巻末に1年生は「不言実行」「文武両道」「将来の夢」、2年生は「新たな目標」「大志を抱く」、3年生は「旅立ちの春」「伝統を守る」を掲載している。 ・小学校書写、高等学校書道との円滑な接続に向けて、「学習のはじめに」「なりきり、書聖・王羲之」を掲載している。 ・技能を習得する際に活用できるよう、課題の文字を書く動画を見ることができる二次元コードを設定している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的に文字を書く力の育成に向けて、「学校生活」「日常生活」等で生活での活用に関連した学習活動を設定している。 ・比較や観察から文字を書く際のポイントを自分で考えられるよう、「考えよう」という学習過程を設定している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に中学校3年間の学習目標を示している。 ・学習内容を確認、自己評価を行う「学習を振り返る」を設定している。 ・学習や生活で活用できるよう、「日常に役立つ書式」に手紙等、生活場面における書式を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「共生・協働」に関連して、「確かめよう」の学習過程等で、課題解決や理解を深めるために話し合う活動を設定している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって学習できるよう、巻頭に「三年間の目標」を囲みで示し、1ページで「学習の進め方」を示している。 ・全体を、「読みやすく書くための楷書」(1年)、「読みやすく速く書くための行書」(1年、2年)、「文字を使い分ける」(2年、3年)と、学習事項による構成にしている。 ・単元を「考えよう」「確かめよう」「生かそう」「学習を振り返る」で構成している。 ・書き初め以外の毛筆の課題文字を、行書学習のうち3つは見開きで掲載し、それ以外は1ページの大きさで掲載している。 ・課題の文字を書く動画や、学習に関連する資料等を見ることができる二次元コードを設定している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判型はB5判である。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆では、朱墨を用いた文字手本を掲載して穂先の動きを示すとともに、「点画の種類」「漢字の筆使い」で、筆圧を表す数字や擬態語を用いて筆圧、筆使いを示している。 ・記号やキャラクター、イラスト、写真を用いて内容を示したり説明したりしている。 ・「目次や小さな文字には」「ユニバーサルデザイン書体を採用しています」と記載している。

令和3年度使用教科用図書審議結果 ⑦

社会(地理的分野)

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい社会地理	<ul style="list-style-type: none"> 知識・技能の定着に向け、用語の解説や「スキル・アップ」などを掲載するとともに、単元を見通して課題を解決するために、「探究課題」や「探究のステップ」「学習課題」を構造的に配置している。 持続可能な社会の形成に主体的に参画することを目指し、第3編第4章ではSDGsの視点から地域課題について考える学習を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、単元のまとめでは、思考を整理する多様なツールを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> 「地理にアクセス」のコラムを設け、見開きページの学習内容をさらに深めるような事象を取り上げて掲載している。 各章の導入では、小学校で学習した用語や導入の活動を掲載し、社会科の学び方を理解できるようにしている。 「スキル・アップ」コーナーを設け、「読み取る」「集める」「まとめる」の3つの視点で統計資料の読み取り方、情報収集の仕方等の手立てを示している。 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> 各章・節の終末に掲載している「基礎・基本のまとめ」「まとめの活動」「探究課題を解決しよう」コーナーでは、単元の学習を振り返り、単元の「探究課題」に対して「地理的な見方・考え方」を働かせて解決するようにしている。 各見開きページの右下に「チェック」「トライ」のコーナーを設けている。「チェック」では、本時の学習を確認し、「トライ」では、様々な資料やキャラクターの文章から学習課題の解決に向けて、自分の考えを表現するように促している。 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> 世界の各州の単元の導入では州の特色を示す写真や地図を見開き2ページで、日本の各地方の単元の導入では特色を示す写真を1ページで掲載している。 各見開きページの左上に導入資料を掲載し、その導入資料に関連した「考える」コーナーや「読み取る」コーナーを設け、導入を本時の学習内容と結びつけている。 第3編第4章では、SDGsの「住み続けられるまちづくりを」の視点に立ち、身近な地域の課題を調査し、その解決策を提言する学習課題を設定している。 【かわさき教育プラン】 <ul style="list-style-type: none"> 巻頭では、「持続可能な社会の実現に向けて」をテーマとして、世界や日本各地の取組例を写真等で示している。 第2編第2章の導入では、各州の「地球的課題」に関連した「探究課題」を設定し、SDGsの視点で「探究課題」を解決するようにしている。 地域素材に関連して、神奈川県的事例として横浜港や京急線等を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 <ul style="list-style-type: none"> 各章・節の導入に設けている「探究課題」コーナーでは、単元の問いや学習する上で着目する視点などを示し、各章・節の終末に設けられている「探究課題を解決しよう」コーナーでは、導入で示された問いに対して説明するようにしている。 各見開きページでは、左ページに「学習課題」を掲載し、右ページに「チェック」「トライ」を掲載して課題を解決する構成にしている。 巻頭に各省庁や団体等のサイトとのリンクや他教科・他分野とのリンクを示した二次元コードとURLを、各所に「Dマーク」を掲載している。 【分量・装丁】 <ul style="list-style-type: none"> AB判を採用している。 巻頭では、世界地図と世界自然遺産を写真で掲載するとともに、持続可能な社会の実現に向けて、様々な分野から考えられるように写真を並べて掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 <ul style="list-style-type: none"> 各章や節で色を統一し、学習している部分を把握できるようにしている。 「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています」と掲載している。 各見開きページの左ページ上段に導入資料、右ページ上段に図版、写真、コラムを配置し、下部に本文を掲載するレイアウトで統一している。 単元のまとまりがわかるよう、各見開きページの左下と右下に色を付けている。
17 教出	中学社会地理地域にまなぶ	<ul style="list-style-type: none"> 地理的分野の学習に必要な知識や技能の習得に向け、「地理にアプローチ」や「地理の技」コーナーを設けたり、見開きページごとに「確認！」「表現！」のコーナーを設け知識の確認や表現活動ができるようにしたりしている。 主体的な社会参画に向けて、地域の課題の解決に向けて考える「地域のあり方」を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、見直しや振り返りの学習活動を重視した単元構成としている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> 「地理の窓」のコラムを設け、見開きページ内の学習内容について、現代社会の動きと関連させながら説明している。 世界の各州や日本の各地方の学習の導入では、学習テーマや学習の視点を掲載し、特色をつかみ資料を読み取るといった社会科の学び方を理解できるようにしている。 「地理の技」コーナーを設け、「調べる」「グラフを読み取る」等の社会科の技能について示している。 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> 各章・節の終末に掲載している「学習のまとめと表現」コーナーでは、学習内容を振り返り、各章・節の導入で提示した課題に対して「地理的な見方・考え方」を働かせて解決し、意見交換を行うようにしている。 各見開きページの右下に「確認！」「表現！」のコーナーを設けている。「確認！」では、資料を読み取ったり、書き込んだりして学習内容を確認し、「表現！」では、自分の考えを表現するように示している。 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> 世界の各州の単元の導入では州の特色を示す写真や地図を見開き2ページで、日本の各地方の単元の導入では特色を示す写真を見開き2ページで掲載している。 各見開きページの左上に導入資料を掲載し、キャラクターが学習の手がかりや示唆などを提示している。 第3編第4章「地域のあり方」では、地域の課題を調査し、その解決策を提言する学習課題を設定している。 【かわさき教育プラン】 <ul style="list-style-type: none"> 第2編第2章の「世界の諸地域」では、導入ページの右下に各州で学習する地球的課題を示している。 巻頭では、SDGsについて「地球的課題とSDGs」として紹介し、地球的課題と17の目標との関係を考えるように促している。 地域素材に関連して、神奈川県的事例として川崎市臨海部や横浜市等を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 <ul style="list-style-type: none"> 各章・節の導入ページでは、単元の問いや学習する上で着目する視点などを示し、各章・節の終末に設けられている「学習のまとめと表現」コーナーでは、導入で示された問いに対して説明するようにしている。 見開き左ページで学習課題、右ページで学習したことをまとめ確認したり表現したりする「確認！」「表現！」を設定している。 学習内容に関連する各省庁や博物館等のサイトへアクセスできる二次元コードとURLを章の導入で掲載している。 【分量・装丁】 <ul style="list-style-type: none"> AB判を採用している。 巻頭では、世界のさまざまな風景として世界遺産の写真を掲載している。また、小学校の学習を振り返り、地理的な見方・考え方を生かして学習を進めることを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 <ul style="list-style-type: none"> 各節で色を統一し、学習している部分を把握できるようにしている。 「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています」と掲載している。 各見開きページの左ページ上段に導入資料、右ページ上段に図版、写真を配置し、下部に本文、コラム、右欄外に関連用語、関連ページを掲載するレイアウトで統一している。 単元のまとまりがわかるよう、各見開きページの左下と右下に色マークを付けている。
46 帝国	社会科中学生の地理世界の姿と日本の国土	<ul style="list-style-type: none"> 地理的な技能の習得に向け、「技能をみがく」のコーナーを設けている。また、章の問い、節の問い、学習課題を設け、単元のまとめでは持続可能な社会について考えるようにしている。 持続可能な社会の実現に向けて、事例を紹介する「未来に向けて」を設け、社会参画の基礎の育成を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、各地の写真やイラスト資料の掲載を重視し、多様な学習活動につなげられるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> 「地理プラス」や「未来に向けて」のコラムを設け、見開きページ内の学習内容について説明している。 「解説」コーナーを側注欄に設け、本文中に掲載している用語について解説している。 「技能をみがく」コーナーを設け、統計資料の読み取り方や聞き取り調査の手法等、社会科で必要な技能を示している。 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> 各章・節の終末に掲載している「章(節)の学習を振り返ろう」コーナーでは、学習を振り返り、「章(節)の問い」に対して「地理的な見方・考え方」を働かせて解決に取り組み、持続可能な社会に向けて考える活動を示している。 各見開きページの右下に「確認しよう」と「説明しよう」のコーナーを設けている。「確認しよう」では、資料を読み取ったり、比較させたりして学習事項を確認し、「説明しよう」では、自分の考えを整理したり、表現したりするようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> 世界の各州の単元の導入では州の特色を示す写真や地図を見開き2ページで、日本の各地方の単元の導入ではイラスト入りの地図を1ページ、特色を示す写真を見開き2ページで掲載している。 各見開きページの左上に導入資料を掲載し、キャラクターが学習の手がかりや示唆などを提示している。 第4部では、第3部までで習得した知識・技能を活用して、持続可能な社会の実現に向けた構想を提言する学習課題を設定している。 【かわさき教育プラン】 <ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域および日本の諸地域の単元の終末部分では、持続可能な社会に向けて考える活動を設けている。 「未来に向けて」のコラムや特設ページ「地域の在り方を考える」にSDGsマークを付け、持続可能な社会に向けて取り組んでいる事例を掲載している。 地域素材に関連して、神奈川県的事例として川崎市の臨海部やネット販売会社の発送センター、横浜市等を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 <ul style="list-style-type: none"> 章・節の導入では、単元の問い等を示し、各章・節の終末の「章(節)の学習を振り返ろう」のページでは、導入で示された問いに対して説明したり、図表にまとめたりするコーナーを設けている。 見開き左ページには「学習課題」、右ページ末には課題解決に向けた「確認しよう」「説明しよう」を掲載している。 節の冒頭や振り返りに、学習内容に関連する動画や「章(節)の学習を振り返ろう」の解答などを閲覧できる二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 <ul style="list-style-type: none"> AB判を採用している。 巻頭では、「地域のよりよい発展を目指して」のタイトルでSDGsの説明と、各地の取組の様子を写真で紹介している。また、地理的な見方・考え方や地理的分野の学習の全体像等を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 <ul style="list-style-type: none"> 各章で色を統一し、学習している部分を把握できるようにしている。 「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています」と掲載している。 各見開きページの左ページ上段に導入資料、右ページ上段に図版、写真、コラムを配置し、下部に本文を掲載するレイアウトで統一している。 全体における位置付けを確認できるように、各見開きページで、紙面右端にインデックスを設けている。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と 工夫	学習指導要領との 関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日文	中学社会 地理的分野	<p>・地理的な技能の習得や学習内容の理解に向けて、「スキルUP」や「地理＋α」を設けている。また、課題の追究、解決に向け、見開きページに学習課題、見方・考え方、確認、の各コーナーを設けている。</p> <p>・主体的に学習に取り組み、地域の課題の解決等を考えるために、「チャレンジ地理」「地域のあり方」等を設けている。</p>	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、地理の学習の充実に向けて、地理的な見方・考え方と問いの例を掲載している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地理＋α」のコラムを設け、見開きページの学習内容について事例をもとに説明している。 ・各章の導入では、小学校で学習した内容や章の学習についての資料を、キャラクターの会話を関連付けて掲載している。 ・「スキルUP」コーナーを設け、「読み取る」「調べる」などの視点で、資料の読み取り方や地図活用の仕方等、社会科の技能について掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末の「学習のまとめ」では、各章の導入で示した各州・地域のテーマに対して「地理的な見方・考え方」を働かせて解決に取り組むようにしている。さらに学習を深めるため「アクティビティ」や「チャレンジ地理」を掲載している ・各見開きページの右側には、本時の学習事項を振り返って確かめる「確認」のコーナーを設けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の各州の単元の導入では州の特色を示す写真や地図を見開き2ページで、日本の各地方の単元の導入では特色を示す写真や土地利用を示した地図を見開き2ページで掲載している。 ・各見開きページの左上に導入資料を掲載し、キャラクターが学習の手がかりや示唆などを示している。 ・第3編第4章では、京都市の課題を考察したり、その課題の解決策について話し合う学習課題を設定している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3編第3章の終末では、それまでの学習を生かして、日本のSDGsの達成度や、これから優先的に取り組むべきことについて考える課題を設定している。 ・「地理＋α」のコラムでは、持続可能な社会に向けて取り組んでいる事例を掲載している。 ・地域素材に関連して、神奈川県的事例として横浜港や横浜市等を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2編第2章と第3編第3章の導入ページでは、各州・地域の「テーマ」「課題」を示し、各章・節の終末の「学習のまとめ」では、導入で示したテーマや課題についてまとめたり、説明したりする活動を設定している。 ・見開き2ページの左ページで「学習課題」を掲載し、右ページの「確認」のコーナーで課題解決を行う構成にしている。 ・巻頭に学習内容に関連する写真資料や各種サイトを閲覧できる二次元コードとURL、各所に「デジタルマーク」を掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AB判を採用している。 ・巻頭では、地理的な見方・考え方について、2つの地域を取り上げて具体的に説明している。イメージしやすいよう、キャラクターが見方・考え方を働かせるような問いかけをしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章で色を統一し、学習している部分を把握できるようにしている。 ・「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています」と掲載している。 ・各見開きページの左ページ上段に導入資料、右ページ上段に図版、写真を配置し、下部に本文、コラム、右欄外に関連用語、関連ページを掲載するレイアウトで統一している。 ・全体における位置付けを確認できるよう、各見開きページで、紙面右端にインデックスを設けている。

令和3年度使用教科用図書審議結果 ⑦

社会(歴史的分野)

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい社会歴史	・知識・技能の定着に向け、用語の解説や「スキル・アップ」などを掲載するとともに、単元を見通して課題を解決するために、「探究課題」や「探究のステップ」「学習課題」を構造的に配置している。 ・持続可能な社会の形成に主体的に参画することを目指し、「歴史のまとめ」のページを掲載している。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、単元のまとまりを重視し、まとめでは多様な思考ツールを掲載している。	【知識・技能】 ・各章のまとめでは、「基礎・基本のまとめ」のページで学習した語句や年表、地図や資料を提示して具体的な知識を身に付けるための手立てを示している。 ・「スキル・アップ」のコーナーでは、年表を読み取る、年表にまとめる、系図を読み取るなどの方法を示している。 【思考・判断・表現】 ・各章のまとめのページでは、その時代の特色を問う課題を提示し、多面的・多角的に考えまとめられるよう、シンキングツールを示している。 ・見開きの左ページの下欄には、時代の流れを把握しやすいよう、年表スケールを掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各章の導入では、該当の時代の特色を表す絵画資料等を掲載し、「みんなでチャレンジ」のコーナーで活動方法を示している。 ・「歴史のまとめ」のページでは、これまでの学習を振り返り、持続可能な社会の実現に向けて自分の考えをまとめる課題を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・地域素材に関連して、神奈川県 の事例として鎌倉市や厚木市の事例を掲載している。 ・巻頭で持続可能な社会の実現に向けて歴史に学ぶことを示し、現代の学習の中でSDGsについて紹介し、持続可能な社会に関する学習課題を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・章の導入で「探究課題」と、節ごとの「探究のステップ」を示し、章末に各節の振り返りと探究課題の解決を行う構成にしている。 ・各見開きページでは、左ページに「学習課題」を掲載し、右ページに「チェック」「トライ」を掲載して課題を解決する構成にしている。 ・他教科の情報や学習内容に関連する動画等を見ることができるよう、巻頭に二次元コードとURL、各所に「Dマーク」を掲載している。 【分量・装丁】 ・AB判を採用している。 ・巻末の年表では、折込で日本と世界の歴史を併記している。 ・歴史の学習に取り組みやすくなるよう、巻頭の見開きでは日本の国宝・重要文化財を、巻末の見開きでは日本地図と共に主な史跡を示している。	【読みやすさの工夫】 ・探究課題について提示や疑問、解説を行うキャラクターを載せている。 ・「見やすく読みまちがいにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています」と掲載している。 ・「全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています」と掲載している。 ・他分野や他教科との関連を図れるよう、分野関連マークや教科関連マークを各所に示している。
17 教出	中学社会歴史未来をひらく	・歴史的分野の学習に必要な知識や技能の習得に向け、「歴史を探ろう」や「歴史の技」コーナーを、見開きページごとに「確認！」「表現！」のコーナーを設け、知識の確認や表現活動ができるようにしている。 ・歴史を振り返り未来を構想する「歴史学習の終わりに」のページを掲載している。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、見通し、振り返りの学習活動を重視した単元構成としている。	【知識・技能】 ・用語について「側注解説」で説明している。各章のまとめで、年表や地図と関連付けて用語確認をできるようにしている。 ・各章の導入で「学習を始めよう」のページを設け、時代の特色の理解に向け、絵画資料や写真を掲載している。 ・歴史学習の基本的な技能を身に付けることができるように、「歴史の技」コーナーでは、資料活用に関わる問いや解説を設けている。 【思考・判断・表現】 ・各章のまとめと表現のページでは、多面的・多角的に時代の特色をつかめるよう、年表や地図を掲載し、その時代の特色を説明するコーナーを設ける構成にしている。 ・各見開きの左ページの学習課題の欄に、時代の流れを把握しやすいよう、時代スケールを掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各章の導入では絵画資料や写真を掲載し、前単元末の絵画資料や写真と比較して、時代の変化に対して興味関心を高める設問を設けるとともに、「学習を始めよう」のページを設け、時代の特色を示す資料を掲載している。 ・「歴史学習の終わりに」で自然災害を取り上げ、歴史の学びをどのように生かしていくか問いかけ、現代の課題を考えるページを掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・地域素材に関連して、神奈川県 の事例として鎌倉市や箱根町等の事例や、現代の単元の「身近な地域の歴史を調べよう」のページで、川崎市の土地利用、人口や産業の移り変わり、臨海部を掲載している。 ・「歴史学習のおわりに」では、現代の課題を考える際の参考としてSDGsの目標を示している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・章の導入には章全体に関わる問いを、章末には時代の特色を振り返る問いを掲載している。各節の導入に節のテーマ、節のまとめでキーワードを示し、節を振り返る欄を設けている。 ・見開き左ページで学習課題、右ページで学習したことをまとめ確認したり表現したりする「確認！」「表現！」を設定している。 ・各章の導入に「まなびリンク」を設け、公官庁や博物館のサイト等にアクセスできる二次元コードとURLを掲載している。 【分量・装丁】 ・AB判を採用している。 ・巻末の年表はとじ込みを開くことで、全体を見通せるようにし、日本と世界の歴史を併記している。また、裏面には世界地図の歴史として、古代から、中世、近世にかけての世界地図の変遷を掲載している。	【読みやすさの工夫】 ・各見開きページでキャラクターが登場し、学習課題に対しての疑問を提示している。 ・「見やすく読みまちがいにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています」と掲載している。 ・「色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています」と掲載している。 ・「歴史をさぐるよう」ページの下部には、公民、地理との関連を示すマークを掲載している。
46 帝国	社会科中学生の歴史日本の歩みと世界の動き	・歴史学習に必要な技能の習得に向け、「技能をみがく」のコーナーを設けている。また、章の問い、節の問い、学習課題を設け、単元のまとめでは時代の特色を考えるようにしている。 ・持続可能な社会の実現に向けて、多面的・多角的に考察する「未来に向けて」を掲載している。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、歴史的な見方・考え方を働かせ、時代の特色をつかむための資料やイラストを掲載している。	【知識・技能】 ・用語を説明する「解説」のコーナーを各所に掲載している。 ・各章のまとめの「章の学習を振り返ろう」では、学習事項を確かめるため、年表や地図、「タイムトラベルを眺め直そう！」を掲載している。 ・「技能をみがく」のコーナーでは、歴史学習における基礎的な技能を紹介している。 【思考・判断・表現】 ・「章の学習を振り返ろう」のページでは、時代の特色を多面的・多角的に考え、説明するために「考えを整理する」「話し合いを通して自分の考えを深める」「時代の特色を理由とともに説明する」の3段階のステップを示している。 ・広い視野から考えられるよう、国際情勢の動きを示した見開きのイラスト地図を3ヶ所掲載している。 ・時代の流れを把握しやすいよう、見開きページの右端縦を用いて、学習する時代の年表スケールを示している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・時代の特色をつかみ、主体的に学習に取り組めるよう、「タイムトラベル」では時代の特色をイラストで示し、イラストを読み解くための設問を設けている。 ・巻末の「未来に向けて」では社会的な課題の歴史的経緯に着目し、解決に向けて考え、未来へのメッセージをまとめる活動を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・地域素材に関連して、神奈川県 の事例として鎌倉市や開港、終戦後の横浜市等の事例を掲載している。 ・「未来に向けて」では、SDGsの17の目標に関連させながら自分の社会的な関心からテーマを決め、未来へのメッセージをまとめる活動を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章で章の問い、各節で節の問いとページ数を記載している。節末で節の問いを振り返り、章末で章の問いの解決を行う構成にしている。 ・見開き左ページには「学習課題」、右ページ末には課題解決に向けた「確認しよう」「説明しよう」を掲載している。 ・動画や教科書の資料のデータ等を利用できるよう、巻頭に二次元コードとURL、各所に二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・AB判を採用している。 ・巻末には折込で年表を掲載し、日本と海外の交流をイラストや矢印で関係を表すように記載している。 ・巻末の「歴史の舞台を訪ねよう」のコーナーでは、現在と旧国境を示した日本地図を掲載し、地名や世界遺産に関連して示している。	【読みやすさの工夫】 ・疑問を示したり解説したりするキャラクターを各所に掲載している。 ・「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています」と掲載している。 ・「色覚特性に配慮した色づかいとなるように工夫しています」と掲載している。 ・ページの下部では、小学校の学習や地理、公民と関連する事項を示している。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と 工夫	学習指導要領との 関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
81 山川	中学歴史 日本と世界	・各時代の世界の様子を紹介する「〇世紀の世界」や課題について話し合い考察する「歴史を考えよう」のページを掲載している。また、時代の特色の理解に向けて、各章の導入では、世界と日本の年表を掲載している。 ・第7章では現代社会の課題について、歴史学習を生かして考える活動を掲載している。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、時代の大きな流れをつかむため年表や、章のまとめで学習内容を振り返る活動を掲載している。	【知識・技能】 ・「用語解説」のコーナーでは、取り上げた用語を補足説明している。 ・各章の導入に帯年表を掲載し、これから学ぶ時代の日本と世界の出来事を写真や資料を使って示している。 ・歴史の学習に必要な技能の習得に向け、第1章では、年表の見方、時代区分の表し方、課題設定の仕方、資料の集め方、レポートの作成・発表の仕方を示している。 【思考・判断・表現】 ・各章の「まとめ」のページでは、見方・考え方を働かせて各時代の特色を多面的・多角的に捉えるために、章の学習を振り返って解決するための問いを設け、表や文章でまとめる活動を掲載している。 ・同時代の世界と日本のつながりを理解できるよう、2、8、13、16、18世紀の世界の様子について、地図とイラストで紹介している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各単元の導入では、生徒が主体的に取り組めるよう、写真やイラストで時代の特色を示し、日本と世界の年表を掲載している。 ・第7章のまとめでは、現代の学習の振り返りとともに、今までの歴史学習から現代社会の課題や解決策を考え、現代社会の課題についての解決策を考える活動を示している。 【かわさき教育プラン】 ・地域素材に関連して、神奈川県的事例として鎌倉市や横浜市等の事例を掲載している。 ・現代の単元では、現在の日本の課題として自然災害や地球温暖化、少子高齢化をはじめ様々な課題を取り上げている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・章の導入で、単元で取り上げる時代の日本と世界の出来事を年表や解説で示している。章の終わりでは、その単元の学習内容を振り返り、まとめるページを設けている。 ・見開き2ページの左ページでは課題を付し、右ページでは既習事項を生かしてさらに考える「ステップアップ」のコーナーを設けている。 ・「くわしく見てみよう」のコーナーでは、博物館等のサイトや動画にアクセスできる二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・AB判を採用している。 ・章の導入の帯年表は見開き2ページの構成としている。年表に加えその時代の重要な資料や写真を掲載している。 ・巻頭では、日本地図と共に日本の世界遺産を紹介している。	【読みやすさの工夫】 ・「色覚の個人差を問わず、多くの人に見やすいよう、カラーユニバーサルデザインを取り入れています」と掲載している。 ・世界遺産マーク、国宝マークなどのマークを使用している。 ・見開きで示すテーマの背景色を日本史はオレンジ、世界史は青、と使い分けている。 ・常体で記述している。
116 日文	中学社会 歴史的分野	・歴史学習の技能の習得や学習内容の理解に向けて、「スキルUP」や「基本用語」のコーナーを設けている。また、課題の追究、解決に向け、見開きページに学習課題、見方・考え方、確認、の各コーナーを設けている。 ・現代の課題について歴史を踏まえて考える『歴史との対話』を未来に活かすのコーナーを掲載している。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、学習課題の解決に向けてさらに見方・考え方を働かせる「深めよう」のコーナーを設けている。	【知識・技能】 ・「基本用語」のコーナーでは、学習の中心となる用語等を文章で説明している。 ・時代を大きくとらえて理解できるよう、各編の導入に年表と世界地図を掲載している。 ・第1編の「歴史を大きく変えた人物はだれだろう」では、資料の集め方、話し合い、発表の方法等を示している。「スキルUP」では歴史学習に必要な技能を掲載している。 【思考・判断・表現】 ・「見方・考え方」のコーナーでは、学習課題の解決の手がかりとなる歴史的な見方・考え方の例を示している。 ・各時代の「まとめ」のページでは、多面的・多角的に考え時代の特色を捉えるためのアクティビティを設けている。 ・学習している時代をとらえるため、見開きページの右端には、時代・世紀のスケールを掲載している。 ・編や章の導入には「地図で見る世界の動き」を掲載し、世界の動きの中で日本の歴史を捉えられるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・編や章の導入では、時代を大観し、関心をもって学習に取り組めるよう、イラストや写真資料等を掲載している。 ・『歴史との対話』を未来に活かすコーナーでは、よりよい未来の実現に向けて構想し、社会の形成に主体的に参画しようとする態度の育成に向け、課題例や取組例等を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・地域素材に関連して、神奈川県的事例として鎌倉市や横浜市、伊勢原市、小田原市等の事例を掲載している。 ・「でかけよう地域調べ」の「公害克服の歴史を調べる」では、北九州市の取組を取り上げ、SDGsのモデル都市として選ばれていることを掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各編や章の導入に課題となるめあてを提示し、まとめるページでは、各時代の特色をまとめる構成にしている。 ・見開き2ページの左ページで「学習課題」を掲載し、右ページの「確認」のコーナーで課題解決を行う構成にしている。 ・動画やワークシート等の利用に向け、巻頭に二次元コード、各所にデジタルマークを掲載している。 【分量・装丁】 ・AB判を採用している。 ・第4編「近世の日本と世界」の導入部では、折込の見開きページで中世と近世の比較ができる絵画資料を掲載している。 ・年表を折込の見開き8ページの構成で、巻末に掲載している。折込には日本の世界遺産も掲載している。	【読みやすさの工夫】 ・「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています」と掲載している。 ・「カラーユニバーサルデザインに配慮しています」と掲載している。 ・世界遺産マーク、国宝マークなどのマークを使用している。 ・見開きページの下部に小学校や地理・公民的分野とのつながりを連携コーナーとして掲載している。
227 育鵬社	[最新]新しい日本の歴史	・歴史の理解をより深めるために「歴史ビュー」「人物クローズアップ」のコーナーを設けている。また、各章の導入で「〇〇の世界へようこそ！」を設け、時代の特色を大観できるようにしている。 ・巻末では、歴史の学習を通して考えた日本の歴史の特色を踏まえ、将来にどう生かすかを考える活動を掲載している。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、時代の特色を考える活動の充実に向けて、各章の導入でイラストや写真を掲載している。	【知識・技能】 ・人物や用語を補足説明する「歴史ビュー」「人物クローズアップ」を各所に掲載している。 ・各章の導入に「歴史モノサシ」と「歴史絵巻」を掲載し、時代を大観できるようにしている。 ・序章の「歴史探検！」では、小学校の既習事項を生かしながら、歴史学習に必要な技能の習得に向け、資料の集め方、発表の方法等を示している。 【思考・判断・表現】 ・各章の「学習のまとめ」のページでは、時代を年表で整理し、資料の読み取りを通して、多面的・多角的に時代を捉えられるようにしている。 ・「このころ世界は」のコーナーでは、略年表と当時の世界地図を掲載し、世界の動きの中で日本の歴史を捉えることができるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各時代の特色を表す資料からその時代を大観し、関心を高められるよう、各章の導入では、「〇〇の世界へようこそ！」のページを設けている。 ・巻末の「歴史学習のまとめ」では、日本の歴史を大観するというテーマで歴史学習を振り返り、歴史で学んだことを将来に生かすことについて、文章でまとめる活動を示している。 【かわさき教育プラン】 ・地域素材に関連して、神奈川県的事例として鎌倉市や小田原市、横浜市等の事例を掲載している。 ・現代の単元では、これからの様々な課題として、自然災害、少子高齢化、差別や偏見を取り上げている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章の導入にある「歴史絵巻」「〇〇の世界へようこそ」で、単元の内容を資料等で示し、章末では単元の学習内容を振り返るページを設け、時代の特色をまとめる活動を掲載している。 ・見開き2ページの左ページで課題を、右ページでは鉛筆マークで見開きのまとめを促すコーナーを設定している。 ・歴史の理解を深めるよう、「歴史のターニングポイント」のページを設けている。 【分量・装丁】 ・AB判を採用している。 ・巻末6ページの折り込み年表では、日本の歴史と世界の歴史を並べて掲載し、事象のつながりを矢印で示している。 ・巻頭は日本人の誕生、巻末は世界文化遺産、日本地図と各地の遺跡・史跡を掲載している。	【読みやすさの工夫】 ・生徒と教師のキャラクターが、資料の読み取りの視点や、考える視点等を示している。 ・図版は色覚特性を踏まえて、色の使用や表示を行っている。 ・世界遺産マーク、国宝マークなどのマークを使用している。 ・章ごとのまとまりが分かるよう、背景色を章ごとで統一している。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と 工夫	学習指導要領との 関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
229 学び舎	ともに 学ぶ人 間の歴 史	<p>・章や部のまとめでは、年表や地図を掲載し、テーマについて話し合ったり、時代を大観したりする活動等を掲載している。また、世界と日本のつながりを意識できるよう、時代ごとに世界地図を掲載している。</p> <p>・主権者として現代の課題に向き合うために、第10章では現代の課題について考える学習活動を掲載している。</p>	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、興味関心を高め、問いをもたせるための文章表現を重視している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 用語の補足説明を各所に掲載している。各部や章末の「学習のまとめ」では用語等を確認できるように、年表や地図等を掲載している。 「歴史への案内」では、小学校の既習事項を生かしながら、歴史の学習に必要な技能として、調べ方、まとめ方、時代区分等を示している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 章末の「第〇章をふりかえる」や部のまとめでは、資料の読み取りを通して、多面的・多角的に時代を捉えられるようにしている。 各章の学習内容に関連して、「歴史を体験する」コーナーを設け、歴史的な見方・考え方を働かせる問いを設定し、体験を通して学んだことを話し合ったり、討論したりする活動等を掲載している。 各章の導入にスケールを掲載し、どの時代を学んでいるかを確認できるようにしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各部の導入では、時代に対する興味関心を高めるために、その時代の特色を表すテーマを設定し、そのテーマにそった世界地図と、関連する資料を掲載している。 現代の学習を終えたところで、歴史と現代をつなげて、現代の諸課題等について考えを深める活動を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域素材に関連して、神奈川県的事例として鎌倉市や横浜市等の事例、幕政改革の学習の中で池上幸豊の取組を掲載している。 第10章では、難民や環境問題、戦争と平和といった現代の課題に向き合い、考えを表す活動を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 部の導入部の年表や世界地図で単元の学習内容を掲載して学習課題を示すとともに、章や部の終わりでは、その単元の学習内容をまとめるページを設けている。 見開き2ページの左ページで学習課題を掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> A4判を採用している。 巻末の年表を12ページで構成し、大きな流れや出来事の間連をつかめるように、「日本の社会・政治・経済の動き」「日本の文化・宗教」「世界の動き」の欄を設けている。 巻頭の世界地図、巻末の日本地図それぞれに、主な史跡や歴史事象の関係地を掲載している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「歴史への案内」では、歴史の学び方や学習の仕方を伝えるキャラクターを掲載している。 「より多くの人が見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています」と掲載している。 巻末の年表では、時代・地域・日本・世界の動きを色別に掲載している。 章ごとにページ下部のインデックスの色を統一している。

令和3年度使用教科用図書審議結果 ⑦

社会(公民的分野)

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい社会 公民	・知識・技能の定着に向け、「公民にアクセス」や「スキル・アップ」などを掲載するとともに、単元を見通して課題を解決するために、「探究課題」や「探究のステップ」「学習課題」を構造的に配置している。 ・持続可能な社会の形成に主体的に参画することを目指し、終章では「よりよい社会を目指して」のページを掲載している。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、単元のまとまりを重視した構成にして、まとめでは多様な思考ツールを掲載している。	【知識・技能】 ・章末の「基礎・基本のまとめ」では知識の定着に向け、用語の意味の確認を促したり、用語の関連を示したりしている。 ・「公民にアクセス」では、本文の学習内容を説明したり、関連した内容を取り上げたりしている。また、巻末の「用語解説」で内容の補足をしている。 【思考・判断・表現】 ・章末の「まとめの活動」では、章の初めの「導入の活動」とリンクした題材を扱い、学習した内容を基に考えたり議論したりする例を示している。 ・見方・考え方を活用して考察することで学習を深めるコーナーとして各所に「見方・考え方」コーナーを掲載している。 ・「対立と合意」「効率と公正」について、部活動の体育館使用を例に取り上げ具体的に説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「導入の活動」では、単元の学習への興味関心を高めるため、写真やイラストを通して現代の社会的事象を取り上げている。 ・終章では持続可能な社会を実現するために、現代の課題について、資料の収集、議論、まとめを行う流れを示し、さらに探究を続ける大切さについて示している。 【かわさき教育プラン】 ・地域素材に関連して、神奈川県内の事例として座間市、藤沢市の事例や、川崎市にあるチョーク工場の写真を掲載している。 ・第5章の導入では、地球規模の課題をとらえるために、SDGsを取り上げている。 ・共生社会に関連して、障がいのある人の働く機会の保障や性の多様性の尊重について掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・章の導入で探究課題と、節ごとの「探究のステップ」を示し、章末に各節の振り返りと探究課題の解決を行う構成にしている。 ・各見開きページでは、左ページに「学習課題」を掲載し、右ページに「チェック」「トライ」を掲載して課題を解決する構成にしている。 ・他教科の情報や学習内容に関連する動画等を見ることができるよう、巻頭に二次元コードとURL、各所に「Dマーク」を掲載している。 【分量・装丁】 ・AB判を採用している。 ・巻頭の「持続可能な社会の実現に向けて」では、写真と共に、これからの社会を考えるキーワードを示している。 ・巻末には世界の現状として世界地図を掲載し、一人当たりの国民総所得(GNI)等を示している。	【読みやすさの工夫】 ・キャラクターが登場し、学習の進め方やポイントを説明している。 ・「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています」と掲載している。 ・章ごとに色を使い分け、背景色や見開きページのタイトルの色、ページ数の背景色などを章内で統一している。 ・世界遺産マークや国宝マーク、地理・歴史・公民関連マークなどを表記している。
17 教出	中学社会 公民ともに生きる	・公民的分野の学習に必要な知識や技能の習得に向け、「公民の窓」や「公民の技」コーナーを設けたり、見開きページごとに「確認!」「表現!」のコーナーを設け知識の確認や表現活動ができるようにしている。 ・持続可能な未来に向け、終章ではSDGsの視点を踏まえ自分の考えを提案する活動を掲載している。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、見通し、振り返りの学習活動を重視した単元構成としている。	【知識・技能】 ・「学習のまとめと表現」では知識の習得に向け、章で学習した内容を問題形式で振り返り確認する活動を掲載している。 ・側注で用語の説明を示したり、「公民の窓」で関連した内容を詳しく取り上げたりしている。巻末の「用語解説」で内容を補足している。 ・「公民の技」のコーナーでは、個人やグループでの活動を通じて公民の学習で身に付けたい技能を掲載している。 【思考・判断・表現】 ・章末の「学習のまとめと表現」では、イラストやグラフを踏まえ、章のテーマに対して既習事項を生かして考え、説明する活動や章の学習とSDGsとの関連を掲載している。 ・章の導入で学習の見通しを掲載し、章の内容に応じた「見方・考え方」を示している。また各所に「見方×考え方マーク」を示している。 ・「対立と合意」「効率と公正」について、合唱コンクールの練習やごみ集積所設置等を例として具体的に説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各章の「学習のはじめに」では関心を高めるために、学習内容に関連した事例や写真、学習の見通し等を掲載している。 ・終章ではSDGsの視点を踏まえ、社会的な課題からテーマを選び、解決に向けた提案例を示し、さらにこれから考える活動を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・地域素材に関連して、神奈川県内の事例として座間市、横浜市の事例や、川崎市の事例として公務員試験の国籍条項、在日韓国・朝鮮の伝統芸能、外国人市民代表者会議、市民オンブズマン等を掲載している。 ・巻頭にSDGsを見開きで紹介し、各見開き2ページで学習内容に関わるSDGsの視点を右ページ下部に示している。 ・共生社会に関連して、多文化共生の視点で川崎市の事例や、「LGBTについて考える場を広げる」等を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・章の導入で「学習の見通し」を掲載して章全体のテーマを示し、節ごとにもテーマを設けている。章末には節のテーマを踏まえた振り返りの問いと、章全体のテーマの解決を行う活動を示している。 ・見開き左ページで学習課題、右ページで学習したことをまとめ確認したり表現したりする「確認!」「表現!」を設定している。 ・各章の導入に「まなびリンク」を設け、公官庁や図書館等のサイト等にアクセスできる二次元コードとURLを掲載している。 【分量・装丁】 ・AB判を採用している。 ・巻頭では現代社会の様々な姿やSDGs、公民の学習内容と学習の見通しを掲載している。 ・巻末では持続可能な社会の実現に向けた具体的な取組の様子やメッセージを掲載している。	【読みやすさの工夫】 ・キャラクターが登場し、学習の進め方やポイントを説明している。 ・「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています」と掲載している。 ・章ごとに色を使い分け、背景色や見開きページのタイトルの色、ページ数の背景色などを章ごとに統一している。 ・見開きの左下に小学校の学習、地理、歴史の学習を振り返るマークや他教科の教科名を掲載して、関連を表している。
46 帝国	社会科 中学生の公民よりよい社会を目指して	・公民の学習に必要な技能の習得や実社会の動きの理解に向け、「技能をみがく」「公民プラス」のコーナーを設けている。また、章の問い、節の問い、学習課題を設け、単元のまとめでは章の問いを振り返る活動を設けている。 ・最終章では、持続可能な社会を目指して、自分の考えをまとめ表現する活動を掲載している。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、章の導入では問題意識を高めるため、見開きで実社会の様子をイラストで示している。	【知識・技能】 ・「章の学習を振り返ろう」のコーナーでは、知識の習得に向け、学習した内容を問題形式で振り返る内容を掲載している。 ・本文の「解説」や「公民プラス」のコーナーでは、用語の解説や実社会の動きを掲載している。 ・「技能をみがく」のコーナーでは、公民の学習に必要な技能を掲載している。 【思考・判断・表現】 ・章末の「章の学習を振り返ろう」では、章の問いに対して、見方・考え方を働かせて考える活動を掲載している。 ・「アクティブ公民」のコーナーでは、見方・考え方を働かせて、現代社会にある多様な課題について、課題の解決に向けて考えたり話し合ったりする事例を示している。 ・「対立と合意」「効率と公正」について、防災備蓄倉庫の設置やごみ集積所設置等を例に取り上げ説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各部の「学習の前に」では、関心を高めるために、学習内容に関連したイラストを示し、身近な場面と結びつけて部の内容を紹介している。 ・最終章では、持続可能な社会の実現に向けて考えられるよう、課題設定、資料収集、考察、レポート作成の流れを示し、課題の考察の例やレポートの修正例等を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・地域素材に関連して、神奈川県内の事例として相模原市、横浜市の事例や、川崎市の事例として、チョーク工場働く障がいのある社員の写真やオンブズマンについて掲載している。 ・国際社会のよりよい発展の学習においてSDGsを取り上げている。 ・共生社会に関連して、人権侵害についての中学3年生の作文や差別解消を訴える人々の写真等を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章で章の問い、各節で節の問いとページ数を記載している。節末で節の問いを振り返り、章末で章の問いの解決を行う構成にしている。 ・見開き左ページには「学習課題」、右ページ末には課題解決に向けた「確認しよう」「説明しよう」を掲載している。 ・動画や教科書の資料データ等を利用できるよう、巻頭に二次元コードとURL、各所に二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・AB判を採用している。 ・巻頭ではよりよい社会を目指して活動する人々の様子を写真で掲載している。また「公民的分野の学習の全体像を見通そう」で、地理的分野・歴史的分野との関連を掲載している。 ・巻末では阪神・淡路大震災の経験を生かす取組を写真で掲載している。	【読みやすさの工夫】 ・本文中にイラストを活用して文章による説明を補足して、学習の進め方やポイントを示している。 ・「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています」と掲載している。 ・見開きの左下に小学校の学習や地理、歴史の学習で取り上げていることを示すマークを掲載している。 ・特設ページやコラムには、記載内容とSDGsの関連を示すため、関連が深いところにSDGsマークを掲載している。

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日文	中学社会 公民的分野	・公民の学習の技能の習得や学習内容の理解に向け、「公民＋α」「アクティビティ」のコーナーを設けている。また、課題の追究、解決に向け、見開きページに学習課題、見方・考え方、確認、の各コーナーを設けている。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、見方・考え方を働かせるため、章の導入で学習内容を見通し、社会の課題を考えるコーナーを設けている。	【知識・技能】 ・学習内容の理解を深めるために、具体的な事例を挙げた「公民＋α」「アクティビティ」というコーナーを設けている。 ・編末の「学習の整理と活用」では、図や表を用いて、学習した用語の確認を行うようにしている。 ・様々な情報を効果的に調べまとめる手立てを身に付けるために、「情報スキルアップ」のページや「シンキングツール」マークを掲載している。 【思考・判断・表現】 ・編や章末の「学習の整理と活用」では、課題について考える手助けとして「シンキングツール」を紹介している。 ・各見開きページに学習課題の解決に向けて手がかりとなる「見方・考え方」のコーナーを掲載している。 ・「対立と合意」「効率と公正」について、合唱コンクールの練習等を例に取り上げ具体的に説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・編の導入として、興味関心を高めるために、学習内容を示した漫画を掲載している。 ・第5編の「私たちの課題」では、持続可能な社会の形成に向けて考える活動の例として、環境問題を取り上げ、テーマ設定、資料収集、考察と構想、まとめと評価という流れを掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・地域素材に関連して、神奈川県的事例として小田原市、相模原市、横浜市等の事例を掲載している。 ・巻頭にSDGsについて説明を掲載し、世界や日本におけるSDGsの取組を掲載している。 ・共生社会に関連して、「まちのバリアフリーを探そう」のページで大阪府堺市の取組について、点字や駅の施設等を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・編の初めには「学習のはじめに」「第〇編の学習について」で編全体の学習の見通しを示し、編や章末で振り返る構成にしている。 ・見開き2ページの左ページで「学習課題」を掲載し、右ページの「確認」のコーナーで課題解決を行う構成にしている。 ・動画やワークシート等の利用に向け、巻頭に二次元コード、各所にデジタルマークを掲載している。 【分量・装丁】 ・AB判を採用している。 ・「明日に向かって」の「まちのバリアフリーを探そう-大阪府堺市-」のページでは、厚さの異なる紙を使用し点字を掲載している。 ・巻末には、日本の人口を100人にたとえ、年齢別人口や労働種別の人口等を示している。	【読みやすさの工夫】 ・キャラクターが登場し、課題に対するヒントやポイント、補足の情報等を説明している。 ・「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォント」を採用しています」と掲載している。
225 自由社	新しい公民教科書	・学習内容の定着に向けて「ここがポイント」コーナーや、多様な学習活動に取り組めるよう「やってみよう」のコーナーを設けている。「学習のまとめと発展」では自らの考えを文章で表現する活動を掲載している。 ・最終章では、持続可能な社会の形成に向けて自分の考えを論文にまとめる活動を掲載している。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、社会的な課題について考えたり話し合ったりする活動を行うコーナーを設けている。	【知識・技能】 ・「ここがポイント」のコーナーでは、各時間の中でおさえるべき重要な確認事項を示している。 ・章末にある「学習のまとめと発展」ページの「学習のまとめ」では、重要語句を確認できるようにしている。 ・「やってみよう」のコーナーでは、見開きページの内容に応じて、話し合い活動、調べる活動、まとめの活動等を促す課題を提示している。 【思考・判断・表現】 ・「学習のまとめと発展」のページの「学習の発展」では、自らの考えを400字程度で記述する課題を提示している。 ・「アクティブに深めよう」のページでは、社会的な課題を取り上げ、様々な立場を踏まえて、事象に対して考察するための学習活動を提示している。 ・「対立と合意」「効率と公正」について、体育館の使用を例に取り上げ具体的に説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生徒の興味・関心を高めるために「ミニ知識」というコラムや写真等の資料を提示している。 ・最終章の「課題の探究」のページでは、ディベートの方法や「持続可能な社会をつくるために私たちは何ができるか」について考え、卒業論文を作成する手立て等を提示している。 【かわさき教育プラン】 ・地域素材に関連して、神奈川県的事例として鎌倉市や横浜市の事例等を掲載している。 ・最終章では、「持続可能な開発目標」の17項目を掲載し、持続可能な社会に向けて考える活動を掲載している。 ・共生社会に関連して、「もっと知りたい」のコーナーでは権利の平等に関する問題や新しい権利について掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・章のはじめにテーマを設定し、各見開きページでは、左ページに学習課題、右ページに「ここがポイント」コーナーを掲載している。 ・「アクティブに深めよう」のページでは、発展的な学習課題を提示し、解決に向けて生徒が考えを記入したり、話し合ったことを表にまとめたりすることができるように構成している。 【分量・装丁】 ・AB判を採用している。 ・巻頭では3ページにわたってリニアモーターカーやロボットスーツなどを紹介する「すごいぞ日本の技術は」を掲載している。 ・巻末では見開き2ページで、写真や解説を用いて日本各地の伝統的工芸品を紹介する「職人の技が生み出した日本の伝統的工芸品」を掲載している。	【読みやすさの工夫】 ・キャラクターが登場し、課題に対するヒントやポイント、補足の情報等を説明している。 ・本文を明朝体で重要語句の太字をゴシック体で分けて掲載している。巻末の「さくいん」ではゴシック体で表した重要語句を掲載している。 ・章の範囲がわかるよう、章ごとにページ数の横のマークの色やページ上部の色、見開き2ページのテーマの背景色等を統一している。
227 育鵬社	[最新] 新しいみんなの公民	・公民の学習に必要な技能の習得や、さらなる理解に向け、「スキルアップ！」「学習を深めよう」のコーナーを掲載している。各章で「〇〇の入り口」「〇〇のこれから」を掲載し、学習内容の見通しや、学習したことを生かして考える活動を掲載している。 ・巻末では、「社会科のまとめ」として、現代社会の課題について考え、表現する活動を掲載している。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、章の導入で「〇〇の入り口」、章末に「〇〇のこれから」の見開きページを掲載して、多様な学習活動を促している。	【知識・技能】 ・各章末の「学習のまとめ」では、重要語句確認や基本的知識の定着等を行う活動を掲載している。 ・学習内容に関連した情報を示すマークを各所に示し、用語の解説等を掲載している。 ・「スキルアップ！」では、発表や議論の仕方、公民の基礎的な技能を身につける内容を掲載している。「TRY！」のコーナーでは、調べ学習の例を提示している。 【思考・判断・表現】 ・章末の「〇〇のこれから」のページでは、各章の「〇〇の入り口」での課題に対して、生徒が考察したり構想したりできるような手立てを示している。 ・「学習を深めよう」では、今日的な課題について話し合ったり、これからのことを考えたりする活動を掲載している。 ・「対立と合意」「効率と公正」について、昼休みのグラウンド使用等を例に取り上げ具体的に説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各章の導入に「〇〇の入り口」というページを設け、興味関心を高めるために、章全体の学習内容を写真等で示し、課題を提示している。 ・「社会科のまとめ」では、よりよい社会の実現に向けて、これまでの学習を踏まえ、テーマを決め、調べ、発表する活動を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・地域素材に関連して、神奈川県的事例として平塚市、横浜市の事例や、川崎市の事例として、障害者雇用を長年続けている日本理化学工業の写真を掲載している。 ・地域のSDGsの事例として、神奈川県横浜市の「水素社会」の実現に向けての取組や北海道下川町の森林との共生についての取組を掲載している。 ・共生社会に関連して、在日外国人と多文化共生社会の例として横浜市の中学校の事例等を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・章の導入で、小学校で学習した関連内容を提示し、「〇〇の入り口」で章の学習の見通しや課題を示している。章末の「〇〇のこれから」では、章の学習を踏まえてさらに考えることを促し、「学習のまとめ」では章の学習を振り返るように促している。 ・見開き2ページの左ページで課題を、右ページでは鉛筆マークで見開きのまとめを促すコーナーを設定している。 【分量・装丁】 ・AB判を採用している。 ・巻頭ではSDGsと、日本や世界各地の取組を写真で掲載している。公民を学ぶ意義や意味について3ページにわたって記載している。 ・巻末では、持続可能な社会を目指して、日本各地で取り組まれている様子を写真で紹介している。	【読みやすさの工夫】 ・キャラクターが登場し、課題に対するヒントやポイント、補足の情報等を説明している。 ・図版は色覚特性を踏まえて、色の使用や表示を行っている。 ・章ごとに、見開きのタイトルの背景色やページ数横のマークの色等をそろえている。 ・地理・歴史で学習した内容との関連がわかるよう、各所にマークを設置している。

令和3年度使用教科用図書審議結果 ⑦

社会(地図)

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と 工夫	学習指導要領と の関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい社会 地図	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の関連を示すために「ジャンプ」マークや「歴史・公民」マークを掲載している。 ・地図の情報を適切に読み取る技能の習得や、地域的特色の理解に向け、各地域の地図に「注目したい記号」を示している。 ・SDGsに関連して、現代社会の諸課題について取り上げたページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、様々な現代的な諸課題について主題図や写真資料等を掲載している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校での学習を踏まえて、地図記号や凡例、さくいんの使い方、一般図の読み取り方、テーマ地図やグラフ・写真などの資料の読み取り方等、地図帳の活用方法についてのページを設け説明している。 ・地図の読み取りの技能の習得や、地域の諸事象や地域的特色の把握のために、各地域の地図に「注目したい記号」を設けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決のため、「基本資料」として、世界の各州や日本の各地方の概観に役立つ地形や気候、土地利用などの地図を設けている。 ・諸地域の学習で課題解決に向けて活用できるよう、主題に合わせた資料をテーマ資料として掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理的分野だけではなく、歴史的分野、公民的分野の学習でも関心をもって地図を活用することができるよう、「歴史・公民」マークを付している。 ・キャラクターの吹き出しで、資料の読み取りのポイントや考察の視点等を示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsに関連して、環境・資源・エネルギー問題、人口・貧困問題、紛争・難民問題といった現代社会の諸課題について取り上げた特設ページを設けている。 ・関東地方の地図で、東京都周辺の地域として川崎市を、工業のページで川崎市臨海部を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地方の白地図や各種サイトにつながる、二次元コードとURLを巻頭に掲載し、各所には「Dマーク」を掲載している。 ・学習の広がりを持たせるため、関連する資料の参照ページを「ジャンプ」マークで示している。 ・「歴史の舞台」では、歴史的分野と関連する資料を掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AB判を採用している。 ・統計資料では、比較できるよう、世界の統計情報と日本の統計情報を各項目で交互に配置して掲載している。 ・統計資料では世界各国の情報を11項目で、日本の都道府県の情報を18項目で示している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています」と掲載している。 ・「全ての生徒の色覚特性に適切するようにデザインしています」と掲載している。 ・50万分の1の地図では、土地利用の様子を9色に分けて示している。
46 帝国	中学校社会 科地図	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の各州の特色の理解に向けて、各州の鳥瞰図を掲載している。 ・地図の情報を適切に読み取る技能の習得や、地域的特色の理解に向け、各地域の地図に「地図活用」のコーナーを掲載している。 ・持続可能な社会への取組を示す「世界の環境問題」のページを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、地図を読み取る視点としての「地図活用」のコーナーや、資料ページの「学習課題」を設けている。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校での学習を踏まえて、地図帳の構成、方位、地図記号や凡例、縮尺、さくいんの使い方、一般図や資料図、グラフ、写真等の読み取り方等、地図帳の活用方法についてのページを設け説明している。 ・世界各州の特色を大観し、概要が理解できるよう、世界各州の鳥瞰図を掲載している。また、学習活動を通して地図活用の技能が身に付くよう、各所に「地図活用」のコーナーを設けている。 ・世界の各州の一般図には陸高と水深、日本の各地方の一般図には土地利用と陸高、水深の凡例を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界や日本の課題解決のため、自然環境、人口密度、言語、産業、日本との結びつきに関する資料を、比較しやすいように、国や州ごとに同縮尺で掲載している。 ・資料のページでは、複数の図から読み取ったことを関連付けたり、事象の特色を考えたりする学習課題を設定している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の自然災害や防災について見開き2ページで示している。各所に防災マークを設置し、地域の防災の事例を掲載している。 ・歴史的分野での学習でも関心をもって地図を活用できるよう、「本州中央部と五街道」の地図のページを設け、江戸時代の出来事等を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsに関連して、世界各地の環境問題や、持続可能な社会に向けた取組を写真等で紹介している。 ・「東京都周辺の地形」において、水や防災の視点から川崎市や二ヶ領用水を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各所に二次元コードを設置し、地図や動画、衛星写真等にアクセスできるようにしている。 ・実際の地形図を取り上げ、作業を通して地形図の見方が身に付けられるコーナーを巻頭に設けている。 ・歴史や公民等で活用できるよう、鳥瞰図や人口に関わる主題図等を掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4判を採用している。 ・統計資料では、比較できるよう、地方別・項目別に色分けをしたり、上位国・上位県の数値を赤字で示したりしている。 ・統計資料では世界各国の情報を11項目で、日本の都道府県の情報を29項目で示している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています」と掲載している。 ・「特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています」と掲載している。 ・50万分の1の地図では、土地利用の様子を7色に分けて示している。

令和3年度使用教科用図書審議結果 ⑦

数学

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい数学 1 新しい数学 2 新しい数学 3	<ul style="list-style-type: none"> 章の導入では、日常生活の一コマイラストや写真を利用した「問いかけ」から始まり、学習意欲を高めるようにしている。 基礎的な知識及び技能の工夫について、「考えてみよう」「調べてみよう」では課題解決型の学習の中で、知識及び技能を身に付ける活動を掲載している。 自分の考えを説明したり他者の考えを聞いたりする活動を課題とした「深い学び」のページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、日本の伝統模様の「青海波」や伝統的な楽器の鼓をイメージして作られた「金沢駅の鼓門」を例示した平方根の活用問題など、日本の伝統・文化に関わる題材を掲載している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目次に単元の内容と関連する既習事項を提示し、学年間での繋がりを掲載している。また巻末の「学びのつながり」では、既習事項のまとめのページを設けている。 基礎・基本的な概念や性質の理解、技能の定着を図ることができるよう節末に「基本の問題」を設定し、その問題に関わる内容を示すページを掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元で学習した内容を用いて、自分の考えを説明したり、他の考えと比較したりして問題解決をする場面を「深い学び」で設けている。 巻頭の「ノートのつくり方」や巻末の「数学の自由研究(レポートにまとめよう)」では、他の考えや振り返りの書き方などを掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭の「大切にしたい数学の学び方」や各章の「深い学び」では、言語活動を中心に学習を進めることができるように、学習の流れを掲載している。 巻末の「数学の自由研究」では、生徒自らが新たな問いや興味・関心を持ち、学びが他教科にも広がるように、関連する教科名を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> きめ細やかな対応を図ることに関連して、基礎・基本の定着を図る問題を掲載するとともに、章末や巻末にある「活用の問題」や「補充の問題」で発展的な内容を掲載することで、習熟の程度に応じた学びを設定している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 章の導入を、奇数ページ(右ページ)に位置付け、日常生活の一コマイラストの問いかけで1節に繋がるようにしている。 問いが「考えてみよう」「調べてみよう」で始まり、生徒が自ら問題解決できるよう「問題をつかむ→見通しをたてる→問題を解決する→振り返る→深める」の過程に沿って、構成している。 二次元コードにより、理解を深めるためのアニメーションや動画、点を動かすなどのシミュレーション、データの整理に役立つコンテンツ、他教科とリンクしている内容を確認できるようにしている。また、巻頭にコンテンツの一覧を掲載し、該当箇所「Dマーク」を掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> B5判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の問いや疑問、見方・考え方の深まりを虫眼鏡のマークやキャラクターの吹き出しで表している。 「ユニバーサルデザインフォントを採用している」と記載している。 章ごとに色を変え、奇数ページにインデックスを設けている。
4 大日本	数学の世界 1 数学の世界 2 数学の世界 3	<ul style="list-style-type: none"> 章の導入では、イラストや写真を用いて生徒自身が問題や疑問を見だし、主体的に取り組めるようにしている。 基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫として、「学びにプラス」では話し合い活動や、説明する活動を掲載している。 数学的な表現を用いて互いの考えを伝え、理解し合う活動や説明する活動ができるように「活動」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、日本の伝統工芸品の「万華鏡の模様を考えよう」や「和算」を取り上げた題材など、日本の伝統と文化に関わる題材を掲載している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目次に単元の内容と関連する既習事項を提示し、学年間での繋がりを掲載している。また巻末付録では1年間のまとめを冊子として活用できるよう設けている。(3年は中学校のまとめを掲載し、切り離しは不可) 基礎・基本的な知識の理解と技能の定着を図るため、節末の「たしかめよう」では側注に確認事項を設け、その問題に関わる内容を示すページを掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> Q(問題)の中に、「伝えよう」や「判断しよう」などがあり、まわりの人に考えを伝える場面や、学習内容から判断する問題を設けている。 巻頭の「ノートの作り方」や章の中の「研究をしよう」「レポートを書こう」では、学びを振り返って広げたり、自分の考えをまとめたりする学習例を示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭の「数学の世界によくこそ」では、問題発見・問題解決の流れを示し、汎用的な見方・考え方を掲載している。 巻末に「活用・探究」を設け、幅広い知識と教養を身に付けながら、生徒自らが新たな興味・関心をもつようになっている。巻末のMATHFULでは身の回りの生活にある数学を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> きめ細やかな対応を図ることに関連して、技能の強化を図れるよう節末の「たしかめよう」、巻末の「〇章をふりかえろう」、巻末の「補充問題」を設定している。また「プラス・ワン」では、補充問題を掲載し、習熟の程度に応じた学習内容を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 章の導入では、左右2ページで章の内容を既習や日常生活に関連付けるように示している。 はじめに「めあて」を示し、「考えよう」から始まり「問題を見いだそう」「解決のしかたを探ろう」「解決しよう」「深めよう」の流れで課題解決型の学習の構成を示している。 二次元コードにより、シミュレーションや動画などを確認できるようにしている。該当箇所は「WEB」のマークを示している。巻頭の二次元コードから、3年間の該当箇所を閲覧できるようにしている。数値を変えるなど条件を変えて操作ができるようにしている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> B5判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の数学的活動や理解、また多様な考え方をキャラクターの吹き出しで表している。 「ユニバーサルデザインフォントを採用している」と記載している。 章ごと、領域ごとに色を変え、奇数ページにインデックスを設けている。
11 学図	中学校数学 1 中学校数学 2 中学校数学 3	<ul style="list-style-type: none"> 章の導入では、学校生活、日常生活や数学の中から問題発見できるように場面を写真やイラストで表現し、生徒が興味をもち、問いをねらいに繋げるような流れを示している。 基礎的な知識及び技能の工夫について、日常生活や学校生活の事柄を題材にして、生徒同士の会話から考えを整理し、課題解決する活動を掲載している。 自分の考えを伝えたり、他者の考えを認めたりできるように「Q」や「数学的活動」のページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、日本の伝統工芸品「箱根寄木細工」などを例示した題材や伊能忠敬の測量法を題材にしたコーナーなど、日本の伝統と文化に関わる題材を掲載している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目次に単元の内容に関連する既習事項を提示したり、学年間での繋がりを掲載したりしている。 基礎・基本的な知識、技能の定着を図るため、項ごとに「どんなことがわかったかな」で重要事項を掲載し、節末の「確かめよう」では、その問題に関わる内容を示すページを掲載している。また、2、3年巻末付録では「図形の性質のまとめ」を設けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> Q(問い)では、問題解決の見通しをもち協働的な学習に取り組めるように、「～を説明してみよう」「～をもとに話し合ってみよう」という問いかけをしている。 巻頭の「ノートの使い方」や巻末の「表現する力を身につけよう(レポートの作成、発表のしかた)」では、自分の考えのまとめ方やレポート作成から発表までの流れを掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭の「この教科書を使った数学の学び方」では、対話的に学びを進められるように、学習の進め方を示している。また、汎用的に使われる見方・考え方を8つのポイントにまとめ示している。 巻末の「さらなる数学へ」では、日常生活や社会から数学的活動を通して解決する「疑問を考えよう」のコーナーを掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> きめ細やかな対応を図ることに関連して、本文・章末・巻末に家庭学習としても活用できるページを設けている。また、巻末には単元の内容を深めるための応用問題として「章のまとめ問題」と位置付け、基本、応用、活用と習熟の程度に応じた問題を設けている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 章の導入は、左右2ページで章の内容を日常生活に関連付けるように設定し、ページ右下で1節に繋がるような問いかけをしている。 章の扉で問題を発見し、「解決の見通し」「目標設定」「解決」「新たな問題の発見」の流れで課題解決型の学習の構成を示している。また、「〇〇の利用」ではさらに協働的な学習、統合的・発展的な学習に繋がる構成にしている。また3年巻末には「高校への架け橋」がある。 二次元コードにより、図形の移動やグラフのシミュレーションなどを確認できるようにしている。該当箇所では二次元コードを掲載し、巻頭の二次元コードから3年間の該当箇所を閲覧できるようにしている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> B5判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決へ導く言葉やキーワードを挿絵やキャラクターの吹き出しで表している。 「ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮して編集している」と記載している。 章ごとに色を変え、奇数ページにインデックスを設けている。

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	中学数学1 中学数学2 中学数学3	<ul style="list-style-type: none"> 章の導入では、その章で学ぶ内容が日常生活や社会に生かされているような写真を掲載し、生徒の興味から生まれる問いから、学習のねらいをつくり、数学的活動に取り組めるようにしている。 基礎的な知識及び技能の工夫について、「Q」などで学習のプロセスを意識した学習展開を掲載している。 数学的な表現である式や図、表、グラフなどを使って自分の考えを伝え合い、みんなで解決するページを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、「和算」を題材にしたり、大工道具の「さしがね」を題材にしたりなど、「日本の伝統・文化」に関わる問題や資料を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> 目次に単元の内容と関連する既習事項を提示し、学年間での繋がりを掲載している。また巻末の「学びのマップ」では小学校を含めた既習事項との系統を含め、前学年までの学習事項のまとめのページを設けている。 節末の「基本の問題」では基礎・基本的な知識、技能の定着を図り、その問題に関わる内容を示すページを掲載している。章の最後に「章の問題」「学習のまとめ」、巻末に「補充の問題」を掲載している。 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> 多様な考え方ができる課題や、自分の考え方を説明したり解決の仕方を話し合ったりする課題を設けている。 1章の終わりに「工夫してノートを書こう」を掲載し、ノートの取り方の4つのポイントと+αのノートづくりを示している。また、「レポートを書こう」では自分の調べたことを周りに伝える手段として、普段の生活から数学の問題を考え、その解決までの流れを示している。 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> 巻頭の「学習するにあたって」では問題発見・解決のプロセスを示し、対話的活動の工夫などを掲載している。また汎用的に使われる「数学的な考え方」を掲載し、深く考えるプロセスを示している。 巻末「数学の広場」では、日常生活と数学との関連や数学の歴史などを扱い、数学に対する興味、関心を深める内容を掲載している。また「学んだことを活用しよう」では、発展的・統合的な学びを示している。 【かわさき教育プラン】 <ul style="list-style-type: none"> きめ細やかな対応を図ることに関連して、巻末の「補充問題」では基礎的・基本的な内容を、「実力アップ問題」では発展的な内容を設定し、習熟の程度に応じた学習課題を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 <ul style="list-style-type: none"> 章の導入は奇数ページ(右ページ)に位置付け、日常生活や社会に利用されている事例を取り上げ、「Let's Try」では対話形式で問いを生む工夫を示し、1節に繋げる構成である。 授業の流れを素朴な疑問「？」から始め、それを問い続けながら解決する構成で示している。 「問題をつかもう」「自分の考えをもとう」「友だちの考えを知ろう」「みんなで話し合おう」「学習をふり返ろう」「深めよう」の流れで筋道立てて説明し伝え合う活動を設定し、問題解決型の学習を示している。 二次元コードにより、図形を動かしたり補充問題の演習ができたり、数値を変えての操作ができるようにしている。該当箇所「まなびリンク」マークを示している。巻頭の二次元コードから3年間の該当箇所を閲覧できるようにしている。 【分量・装丁】 <ul style="list-style-type: none"> B5判にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 <ul style="list-style-type: none"> 生徒の問いや疑問、見方・考え方の深まりをキャラクターの吹き出しやマーク(？や!)で表している。 ユニバーサルデザインフォントを使用している」と記載している。 ページの右側スペースには、「数学メモ」や「数学的な考え方」、「もどって確認」などを示している。
61 啓林館	未来へひろがる数学1 未来へひろがる数学2 未来へひろがる数学3	<ul style="list-style-type: none"> 章の導入では、日常生活のイラストや写真を掲載し、そこから生まれる問いを対話的活動から解決するようにしている。 基礎的な知識及び技能の工夫について、学習課題に取り組む流れを示し、既習内容を生かした課題解決型の学習を取り上げた問いを掲載している。 自分の考えを他者に分かりやすく伝える場面や、他者との考えを比較してよりよい考えとしていく活動を「説明しよう」「話し合おう」で設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、日本の伝統模様の「市松模様」などを例示したり、大工道具の「大矩」を例示したりなど、「日本の伝統・文化」に関わる問題や資料を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> 振り返りながら学習できるように、課題の横にその課題を解決するために必要な性質を小枠で示し、既習事項を「ふりかえり」で掲載している。 章末問題「学びをたしかめよう」では、側注に学習したことの確認事項を設け、その問題に関わる内容を示すページを掲載している。 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> 数学的思考の、表現及び整理する方法をステップ形式で掲載している。また、自分の考えを表現する場を、「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」に設定している。 学習の振り返りや評価・改善が自らできるように、巻頭の「ノートをくふうして、学習に役立てよう」では、ノートのとり方を複数掲載している。また、自分から学ぼう編では「レポート例」として、問題発見・解決の流れを掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> 「みんなで学ぼう編」、巻頭の「構成と使い方」では、自分から問題を生み出したり、いろいろな場面で役立つ数学的な見方・考え方について示している。 「自分から学ぼう編」の「学びをいかそう」では、数学を身の回りで利用したり、問題を深めたり広げたりできるように示している。 【かわさき教育プラン】 <ul style="list-style-type: none"> きめ細やかな対応を図ることに関連して、章末問題では基礎「学びをたしかめよう」、応用「学びを身につけよう」の2つに分け、習熟の程度に応じた問題を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 <ul style="list-style-type: none"> 章の導入は左右2ページで、学校生活、日常生活に繋がる題材を掲載し、右下にその章で学ぶことを示している。 節ごとに問いから始まる「学習のとびら」を設け、「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」の流れで対話的な学びを示している。 二次元コードにより、動画やシミュレーション、関連する分野の記事などを確認できるようにしている。また、章末問題のヒントや解答も掲載している。該当箇所に二次元コードが掲載され、巻頭の二次元コードで3年間の該当箇所を閲覧できるようにしている。 【分量・装丁】 <ul style="list-style-type: none"> B5判にしている。 1冊を、「みんなで学ぼう編」と「自分から学ぼう編」に分けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 <ul style="list-style-type: none"> 見方や考えのキーワードを示したり、注意を喚起したりする場面をキャラクターの吹き出しで表している。 ユニバーサルデザインフォントを使用していることを示す「UDFONTマーク」と記載している。 章ごと、奇数ページにインデックスを設けている。
104 数研	日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの 数学1 見方・考え方をはたらかせる これからの 数学2 日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの 数学3 見方・考え方をはたらかせる これからの 数学3	<ul style="list-style-type: none"> 章の導入では、写真やイラストを掲載し、生徒が興味や関心をもち、自ら問いをもつようにしている。 基礎的な知識及び技能の工夫について、日常生活の事柄を題材とし、生徒同士の会話をヒントに理解を深める「TRY」を掲載している。 自分の考えを伝えたり、他者の考えを聞いたりする活動を課題とする「Q」を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、世界遺産である「平等院鳳凰堂」を例示したり、「和算」を取り上げたりするなど、「日本の伝統文化」、「世界遺産」に関わる資料を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> 巻頭「ふりかえり」のページでは既習事項との繋がりを示し、学習に必要な知識の確認を掲載している。また、巻末のまとめのページでは前の学年までの学びとの繋がりを合わせて確認できるよう、章別、系統別で重要事項を示している。 基礎・基本の定着を図るため、節末の「確認問題」では、その問題に関わる内容を示すページを掲載している。 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> 「Q」や「TRY」など、生徒に考えさせる問いかけを各所に配置し、数学的活動を多く取り入れている。 巻頭の「ノートの作り方」では、ノートづくりのポイントを紹介している。また巻頭の「レポートを書こう」では、成長段階に合わせて説明の違いを示しながら掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> 巻頭の「学習の進め方」では、「説明を聞くときは」「グループで話し合うときは」「発表するときは」の3つを示し、数学的活動でよく使う考え方を掲載している。 別冊探究ノートでは、課題を解決する活動の例を対話形式で示し、既習事項の内容をさらに深めたり発展させたりし、生徒が興味、関心を高めるようにしている。 【かわさき教育プラン】 <ul style="list-style-type: none"> きめ細やかな対応を図ることに関連して、巻末に「問題A」「問題B」があり、習熟の程度に応じて学習できるように設定している。また、二次元コードの中に補充問題を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 <ul style="list-style-type: none"> 章の導入では、左のページに既習事項の振り返り、右のページに日常生活と関わる事項を掲載している。 考えるきっかけを示すためキャラクターの対話中に、間違った考えを示し、それに基づいた新たな疑問も示している。また言語活動を充実させるように事実、方法、理由などを説明する問い、自己の考えを他者に伝える機会を設定している。 二次元コードから、関連した補充問題、動画、アニメーションなどを閲覧できるようにしている。該当箇所「補充」「資料」「イメージ」「考察」のマークを示している。巻頭の二次元コードから3年間の該当箇所を閲覧できるようにしている。 【分量・装丁】 <ul style="list-style-type: none"> B5判にしている。 各学年教科書、別冊探究ノートの2冊に分けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 <ul style="list-style-type: none"> 生徒の考えるヒントや間違いやすい点、既習との繋がりをキャラクターの吹き出しで表している。 ユニバーサルデザインの視点に基づき、より多くの人が利用しやすいように配慮している」と記載している。 章ごと奇数ページにインデックスを設けている。

発行者の番号 略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との 関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日文	中学数学1 中学数学2 中学数学3	<p>・章の導入では、生徒に興味や関心をもたせるように日常生活の場面をイラストで表し、既習内容の振り返りなどを掲載している。</p> <p>・基礎的な知識及び技能の工夫について、問題解決の手順が図や言葉で示された「学び合おう」のページを掲載している。</p> <p>・自分の考えを他者と共有し、問題解決的な学習として「学び合おう」を設定している。</p>	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、「小町算」を例示したり、「和算」を取り上げたりするなど、「日本の伝統や文化」に関わる資料や題材を掲載している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・目次に単元の内容と関連する既習事項を提示し、学年間での繋がりを掲載している。また各学年巻末には「図形のまとめ」のページを設けている。</p> <p>・基礎・基本的な事項の定着を図り、節末の「基本の問題」では、その問題に関わる内容を示すページを掲載している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・学習する内容をより理解するため、章内の各問いに「考えよう」「話し合おう」「深めよう」「説明できるかな」という表示がついている。</p> <p>・巻頭の「ノートの工夫」や巻末の「数学レポートをかこう」では、学習を振り返る観点やその記述の方法を示している。疑問点を周りと共有し、数学的活動を通して解決する方法を掲載している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・巻頭の「数学の学習を始めよう」では、身近なことから数学の問題を発見し、それを解決するような数学的活動の流れを掲載している。また、「数学的な見方・考え方を身につけよう！」や各ページにある「大切な見方・考え方」では、汎用的な見方・考え方を示している。</p> <p>・巻末の「数学研究室」では、生徒自らが新たな問いや興味・関心を持ち学びが広がるように、「東京オリンピックのエンブレム」や「台風の強さ」、「プログラミング言語Scratchを用いる課題」など、他分野と関わりのある題材や発展的な題材を掲載している。</p> <p>【かわさき教育プラン】</p> <p>・きめ細やかな対応を図ることに関連して、巻末に、「補充問題」、「総合問題」、「ステップアップ」と習熟の程度に応じて学習できる問題を掲載している。</p>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <p>・章の導入では、左右2ページで、章の内容を日常生活に関連付けるような事項を対話形式で示している。</p> <p>・学び合おうの場面は、問題解決型の学習として、生徒の主体的な問いから「見通しをもとう」「考えよう」「話し合おう」「振り返ろう」「深めよう」「もっと深めよう」の流れで構成している。</p> <p>・二次元コードにより理解を深めるためのアニメーションや動画、フラッシュ計算を確認できるようにしている。該当箇所に「WEB」のマークを示している。3年間の該当箇所を閲覧できるようにしている。</p> <p>【分量・装丁】</p> <p>・B5判にしている。</p>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <p>・対話的活動を促すことや既習との繋がりを、学びの確認をキャラクターの吹き出しで表している。またページの右端スペースには、「大切な見方・考え方」を示している。</p> <p>・「ユニバーサルデザインフォントを採用している」と記載している。</p> <p>・章ごとに色を変え、奇数ページにインデックスを設けている。</p>

令和3年度使用教科用図書審議結果 ⑦

理科

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい科学1 新しい科学2 新しい科学3	<ul style="list-style-type: none"> 探究的な学習を通して資質・能力が育成できるよう、脚注に探究の流れが見えるフローチャートを掲載している。 生徒の気づきや疑問から探究的な学習を進めるために、学習内容に関する気づきを引き出す「レッツスタート！」を各節の導入に設定している。 「理科の見方・考え方」を働かせて考え、仲間と協働して探究する楽しさを味わわせるための支援として、キャラクターの対話や「科学のミカタ」を掲載している。 深い学びにつなげるよう、学習内容を活用する「学びをいかして考えよう」「学んだことをつなげよう」を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、月の満ち欠け等の継続観察を掲載している。また、巻末資料の「理科の学習を深めよう」で水族館や動物園、技術館や博物館等の施設を紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> 章末に「章末」、単元末に「学習内容の整理」「確かめと応用」の問題演習を設定している。 計算について、例題と考え方、練習問題、確認問題を掲載している。 学習内容に関連する社会科や保健体育科等の他教科の教科書の紙面等につながる二次元コードを掲載している。 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> 探究の学習過程として、「問題発見」「課題」「仮説」「構想」「観察・実験」「分析・解釈」「検討・改善」「結論」「ふり返り」「活用」を基本としており、巻頭の「科学で調べていこう」ではマンガで示している。また、脚注にフローチャートを掲載している。 観察、実験などでは、重点的に探究を深める「探究をレベルアップ」を設定している。 探究活動の補助をするために、「科学のミカタ」で理科の見方・考え方を示している。 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> 各節の導入には、学習内容に関する気付きを引き出す「レッツ スタート！」を設けている。 学習の前後で自己の変容を自覚できるよう、章の始めと終わりに「Before&After」を設定している。 日常生活との関わりや社会での科学の有用性を実感できるよう、「つながる科学」を設けている。 【かわさき教育プラン】 <ul style="list-style-type: none"> 未来を担う人材の育成に関連して、「世界につながる科学」では、SDGsについて扱い持続可能な社会を考える情報を掲載している。 学ぶこと、働くことを実感することに関連して、「世界につながる科学」では、科学技術の紹介とともに、技術者へのインタビューを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 <ul style="list-style-type: none"> キャラクターの吹き出しで、生徒の思考の補助となる対話を例示している。 各単元の始めの「これまでに学んだこと」で、既習内容の確認について示している。 単元末に「科学の本だな」を設定している。 巻頭に二次元コードの記載があり、該当ページには「Dマーク」を表示している。二次元コードから、シミュレーションや他教科の教科書につながる等のWebページがある。 【分量・装丁】 <ul style="list-style-type: none"> 判型はA4変型判にしている。 第1学年：観察10、実験13、活動2 第2学年：観察5、実験23、活動2 第3学年：観察5、実験16、活動8 巻末に「世界の火山分布」「世界の震源分布」(第1学年)「温帯低気圧ペーパークラフト」(第2学年)「星座早見盤」(第3学年)の付録を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 <ul style="list-style-type: none"> 「ユニバーサルデザインフォントを採用しています」と記載している。 観察、実験のページでは、安全指導や配慮すべき事項に対して「注意マーク」とともに色囲みや赤字で表記している。 理科用語は黒で太字、ルビをふっている。 単元の始めや「科学の歴史」等では漫画を用いている。 探究の過程と場面を各ページの下部に示している。 第1学年の文字サイズは、小学校との接続を考慮し、第2、3学年よりも大きいサイズを採用している。
4 大日本	理科の世界1 理科の世界2 理科の世界3	<ul style="list-style-type: none"> 理科に親しみが持てるよう、巻頭で理科に関連する職業を掲載している。 問題解決の能力と指導の重点を意識できるよう表示している。 仲間と協働して探究する楽しさを味わわせるための支援として「話し合おう」等でキャラクターの対話の例を掲載している。 学びを深められるよう「発展」では発展的な学習内容を掲載している。また、学習したことを自らが活用するよう「探究活動」「自由研究にチャレンジしよう！」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、月の満ち欠け等の継続観察を掲載している。また、「行ってみよう科学館・博物館」「生物を見に行こう」で科学館や博物館、動物園や水族館等の施設を紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> 章末に「章末問題」を、単元の最後に「まとめ」「単元末問題」「読解力問題」を設定している。 計算について、考え方の手順を例題と解答例で示し、演習を掲載している。 顕微鏡やメスシリンダー等の実験器具の使用方法的動画等につながる二次元コードを掲載している。 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> 巻頭の「理科の学習の進め方」の中で、探究の過程とともに、考えを深める場面として「問題を見つけよう」「計画を立てよう」「結果から考えよう」「振り返ろう」「話し合おう」を示している。 理科の見方・考え方に気付かせるように、「やってみよう」を設定している。 各単元末に「探究活動」を設定し、観察・実験による探究の過程を示しており、「読解力問題」では、思考力、判断力、表現力等が育成されるような問題設定をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> 日常生活との関わりや科学の有用性を実感できるよう、「科学のあしあと」「くらしの中の理科」「Science Press」を設けている。 【かわさき教育プラン】 <ul style="list-style-type: none"> 未来を担う人材の育成に関連して、「これからの私たちのくらし」では、持続可能な社会にする方法について考えられるよう設定している。また、「Science Press」ではSDGsについて扱っている。 学ぶこと、働くことを実感することに関連して、単元の学習内容に関連する職業について紹介する「Professional」のコーナーを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 <ul style="list-style-type: none"> 探究活動の「やってみよう」や「話し合おう」では、キャラクターの吹き出しによる対話で、見方や考え方や探究のヒントを例示している。 各単元の始めにおいて学習内容を章ごとに示し、「これまでに学習したこと」「これから学習すること」を見開きを使用して説明している。また、小学校の既習内容は本文展開に関連させ、「思い出そう」で振り返りを設定している。 目次の「理科の世界WEB」に二次元コードの記載があり、該当ページにはマークを表示している。二次元コードから実験器具の使用方法的動画等を活用できるようにしている。 【分量・装丁】 <ul style="list-style-type: none"> 判型はB5判にしている。 第1学年：観察9、実験10、活動4 第2学年：観察5、実験24、活動2 第3学年：観察4、実験16、活動2 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 <ul style="list-style-type: none"> 「ユニバーサルデザインフォントを使用しています」と記載している。 観察、実験ページでは、安全指導や配慮すべき注意事項は「注意マーク」とともに色囲みで表記している。 理科用語は黒で太字、ルビをふっている。 探究の過程のうち、特に重点化する場面をマークで示している。 第1学年の文字サイズは、小学校との接続を考慮し、第2、3学年よりも大きいサイズを採用している。
11 学図	中学校科学1 中学校科学2 中学校科学3	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭の「理科のトリセツ」では、子どもたち一人一人が持続可能な社会の担い手になるために必要な資質・能力を身に付けるために、理科で何を学ぶか、探究の進め方、教科書の使い方等を掲載している。 章ごとに育成を目指す資質・能力の三観点を「Can Do List」で示し、章末の「何ができるようになったか」で自己チェックするコーナーを設定している。 キャラクターによる主体性を促す対話例や、協働的に探究する対話例を掲載している。 各単元末に、深い学びを実現する活動例を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、月の満ち欠け等の継続観察を掲載している。また、「サイエンスカフェ」ではジオパークを紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> 「この時間の課題」と「この時間のまとめ」を設定している。 計算について、例題と考え方を掲載している。計算方法のプログラムにつながる二次元コードを掲載している。 章のまとめや基礎問題、ガスバーナーの使い方等の動画等につながる二次元コードを掲載している。 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> 巻頭の「理科のトリセツ」の中で、探究の過程を「気づき」「課題設定」「仮説」「検証計画」「観察・実験」「結果」「考察」「ふり返り」「伝える」「次の気づき」と示しており、それに基づいた観察、実験等を掲載している。 単元末に、学習内容に関連した会話形式等の文脈から思考したり、図や文章で表現したりする「学びを日常にいかしたら」を設けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> 学習の前後で自分の成長した様子が分かるよう、単元の始めに「学びのあしあと」を設定している。 日常生活との関わりや科学の有用性を実感できるよう、「サイエンスカフェ」を設けている。 各章の始めと終わりに、学習目標を示し、見通しと振り返りを助ける「Can-Do List」を掲載している。 【かわさき教育プラン】 <ul style="list-style-type: none"> 未来を担う人材の育成に関連して、第1学年及び第2学年巻頭の「なぜ理科を学ぶの？」では、SDGsを扱っている。また第3学年の最終単元では、持続可能な社会づくりとして、SDGsについて掲載している。 学ぶこと、働くことを実感することに関連して、巻頭の「理科のトリセツ」に、理科に関連する職業について「ミッションX」のコーナーを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 <ul style="list-style-type: none"> キャラクターの吹き出しで、理科の見方や考え方の例や、探究のヒントとなる会話を例示している。 単元の始めに、既習事項を確認し新たな学習に入るよう「ふり返ろう・つなげよう」を設定している。 章の始めに「目標」、章末に「何ができるようになったか」を「Can-Do List」で示している。 巻頭や本文中に二次元コードの記載がある。二次元コードから基礎問題や実験器具の使い方の動画等を利用できるようにしている。 【分量・装丁】 <ul style="list-style-type: none"> 判型はAB判にしている。 第1学年：観察7、実験9、活動4 第2学年：観察7、実験18、活動4 第3学年：観察3、実験12、活動8 巻末に、ホワイトボードとして使用できる「学びの交換 アイデアボード」を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 <ul style="list-style-type: none"> 「ユニバーサルデザインの視点を取り入れ編集しました」と記載している。 観察、実験のページでは、安全指導や配慮すべき事項に対して「ストップマーク」とともに色囲みや赤字で表記している。 理科用語は黒で太字、ルビをふっている。 探究の過程の各場面について、マークをページの左側に示し、矢印でつないでいる。 第1学年の文字サイズは、小学校との接続を考慮し、第2、3学年よりも大きいサイズを採用している。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との 関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	自然の探究 中学理科 1 自然の探究 中学理科 2 自然の探究 中学理科 3	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが未来を切り拓くために必要な資質・能力を身に付けるよう、巻頭に「探究の進め方」を折り込んでいます。 単元の導入では、これから始まる学習に関心がもてるよう、「これまでの学習」と「学習前の私」を位置付けています。 常に自分の考えをもち、友達と話し合いながら考えを練り上げるよう、キャラクターによる対話の例を掲載しています。 獲得した知識・技能を、新たな疑問づくりや日常生活への活用ができるよう、「活用しよう」のコーナーを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、月の満ち欠け等の継続観察を掲載している。また、巻末資料の「校外の施設を活用しよう」では、動物園や科学館、プラネタリウム等の施設を紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 章末に「要点をチェック」、単元末に「要点と重要用語の整理」「基本問題」を設定している。また、巻末に「学年末総合問題」を設定している。 計算について、計算方法を側注や「サイエンス資料」で解説している。また、例題や練習問題を掲載している。 【思考・判断・表現】 巻頭の「探究の進め方」では、探究の過程として「疑問」「課題」「仮説」「計画」「観察・実験」「考察」「結論」と示している。また、観察、実験等のページを開いた状態で参照できるよう、折り込みになっている。 自然体験や日常生活に関連付けて探究するよう、観察、実験の結論の後に「活用しよう」や「発展」を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己の変容を自覚できるよう、章の始めと終わりに「学習前の私」と「学習後の私」を設定している。 日常生活との関わりや科学の有用性を実感できるよう、「ハローサイエンス」等を設けている。 学習内容に関連する企業や研究所等の外部サイトにつながる二次元コードを掲載している。 【かわさき教育プラン】 未来を担う人材の育成に関連して、持続可能な社会をつくるために、「ハローサイエンス」でSDGsを取り上げている。日常生活や社会と関連付けながら持続可能な社会を考えるための情報を掲載している。 学ぶこと、働くことを実感することに関連して、巻頭の「科学者列伝」では、ノーベル賞受賞者の功績を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 キャラクターの吹き出しで、実験前の疑問や実験後の考察などの探究のヒントを例示している。 既習事項を確認した上で、新たな学習に入るよう、各章の始めに「学んでいくこと」と「これまでの学習」を示している。 巻頭に二次元コードの記載があり、該当ページには「まなびリンク」のマークを表示している。二次元コードから学習内容に関連する外部サイトにつながるようにしている。 【分量・装丁】 判型はAB変型判にしている。 第1学年：観察6、実験13、活動4 第2学年：観察5、実験19、活動1 第3学年：観察2、実験13、活動6 巻末に、「生物カード」(第1学年)「原子のモデルカード」(第2学年)「星座早見盤」(第3学年)の付録を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 「ユニバーサルデザインフォント」を使用しています。「カラーユニバーサルデザインに配慮しています」と記載している。 観察、実験のページでは、安全指導や配慮すべき事項に対して、マークとともに色囲みや赤字で表記している。 理科用語はオレンジ色で太字、ルビをふっている。 探究の過程の各場面について、ページの左側に矢印につけたマークで示している。 第1学年の文字サイズは、小学校との接続を考慮し、第2、3学年よりも大きいサイズを採用している。
61 啓林館	未来へひろがるサイエンス1 未来へひろがるサイエンス2 未来へひろがるサイエンス3	<ul style="list-style-type: none"> 未来を切り拓く資質・能力を育てるために、巻頭で「探究の過程」のサイクルを示し、探究的な活動場面を重視する「探Q実験」を設定している。また、巻末に「探Qシート」を綴じ込んでいる。 単元の始めに単元の学習内容につながる二次元コードを、章の始めに既習の内容につながる二次元コードを掲載している。 学びの見通しを持てるよう「学びの見通し」「学ぶ前にトライ!」「学んだあとにリトライ!」を設けている。 対話を通して探究するよう、「話し合ってみよう」「考えてみよう」「表現してみよう」を設けている。 学習から身近な課題に思考をつなぐ「活用してみよう」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、月の満ち欠け等の継続観察を掲載している。また、巻末のサイエンス資料では、ジオパークや博物館、科学センター等を紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 章末に「基本のチェック」、単元末に「学習のまとめ」「力だめし」、巻末に「学年末総合問題」を設定している。 計算について、例題とその考え方を示し、練習問題を掲載している。 ガスバーナー等の実験器具の使い方や復習問題等につながる二次元コードを掲載している。 【思考・判断・表現】 巻頭の「探究とは」や、巻末の「探究の流れと探究の振り返り」では、探究の過程として「疑問」「課題」「仮説」「計画」「観察・実験」「結果」「考察」「表現」と示している。 巻末に各単元の内容を探究的に学習する「探Qシート」、探究を深める「探究ラボ」を設けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の始めに単元の学習内容を見通すよう、「科学にアクセス」に二次元コードを掲載している。また、章の始めに既習内容をつなぐよう、「つながる学び」に二次元コードを掲載している。 日常生活との関わりや科学の有用性を実感できるよう、「お料理ラボ」「部活ラボ」等のコーナーを設けている。 学習の見通しと振り返りができるよう、単元ごとに「学びの見通し」「学ぶ前にトライ!」「学んだあとにリトライ!」のコーナーを設定している。 【かわさき教育プラン】 未来を担う人材の育成に関連して、第3学年の「持続可能な社会をめざして」では、SDGsについて取り上げ、持続可能な社会を目指すよう、エネルギーや自然環境の保全等を、第2学年の「ひろがる世界」では海に関する内容を掲載している。 学ぶこと、働くことを実感することに関連して、「お仕事ラボ」のコーナーでは、学習内容と関連した職業や働く人について掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 「考えてみよう」「活用してみよう」「表現してみよう」のコーナーがあり、探究活動に取り組む上でのヒントや思考をキャラクターの吹き出しで例示している。 既習事項を確認し新たな学習に入るよう、各章の始めに「つながる学び」を、本文中は「思い出してみよう」を設定している。 裏表紙や該当ページに二次元コードの記載がある。二次元コードから、実験器具の使い方、シミュレーション、復習問題等のデジタルコンテンツを利用できるようにしている。 【分量・装丁】 判型はAB判にしている。 第1学年：観察7、実験14、活動2 第2学年：観察3、実験20、活動5 第3学年：観察2、実験17、活動6 巻末に、単元ごとの「探Qシート」「探究ラボ」の付録を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 「ユニバーサルデザインフォント」を採用しています。「メディア・ユニバーサル・デザイン協会の認証を申請中です」と記載している。 観察、実験のページでは、安全指導や配慮すべき事項に対して、マークとともに赤字で表記している。 理科用語は黒で太字、ルビをふっている。 探究の過程の各場面を、ページの左側に丸いマークで示し、点線をつないでいる。 第1学年の文字サイズは、小学校との接続を考慮し、第2、3学年よりも大きいサイズを採用している。

令和3年度使用教科用図書審議結果 ⑦

音楽(一般)

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	中学音楽1 音楽のおくりもの 中学音楽2・3上 音楽のおくりもの 中学音楽2・3下 音楽のおくりもの	・「音楽を形づくっている要素」を学びの手がかりとなるヒントとして巻頭に示し、主要教材と選択可能な教材で構成して、表現と鑑賞の関連を図る工夫をしている。 ・知覚・感受したことや自分の考えを言葉で表したり、書き込んだりできる工夫をし、それを基に友達と対話や協働しながら学習する手立てを示している。 ・我が国や世界の多様な音楽に触れ、そのよさや特徴を感じ取り、生活や社会の中の音や音楽との関わりに関心をもつ工夫をしている。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、我が国の伝統音楽や郷土の民謡や芸能、歌唱共通教材、諸外国の音楽等を掲載し、我が国や郷土の音楽文化、他国の音楽文化を尊重する態度を養う工夫をしている。	【知識・技能】 ・「どんな特徴があるかな？」では、音楽を形づくっている要素を解説し、それらの働きに注目しながら鑑賞する教材を掲載している。 ・「Let's Sing!」では、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を習得するための手立てを掲載している。 ・「指揮をしてみよう」のコーナーでは、実際の音楽に合わせた指揮の振り方の解説を掲載している。 【思考・判断・表現】 ・「学びのユニット」で、音楽を形づくっている要素を「学びの手がかりとなるヒント」として示している。 ・キャラクターを活用して、思考を促すヒントや考えるきっかけを示している。 ・「音のスケッチ」は、創作の活動の手順を示し、作品の例を参考に試行錯誤して創作活動に取り組む教材を掲載している。 ・「何が同じで、何が違う？」では、曲を比較して学習を進め、音楽の特徴を書き込む欄やそれを基に話し合う手立てを掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各教材に具体的な活動例、学習したことを生かして比較する活動、学びを深める活動を掲載している。 ・第1学年では、変声期に起きる音域の変化や無理のない発声に関する解説を掲載している。 ・「発展」のコーナーでは、「音の伝わり方」「音の三要素」など、他教科と関連した学習や生活の中の音や音楽について、発展した学習の内容を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・多様性を尊重する社会の担い手を育む教育に関連して、我が国や郷土の伝統音楽や「何が同じで、何が違う？」のコーナーで我が国と諸外国の音楽について比較する教材を掲載している。 ・共生・協働の精神をもち、共生社会を実現していくことに関連して、「話し合おう」や「音のスケッチ」では、友達と対話をしたり、協働的に学習を進めたりする手立てを掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に、「学びのユニット」として、領域・分野ごとに「主要教材」を示し、学びのねらいや学習内容、音楽を形づくっている要素、関連させて学習する教材を示している。 ・音楽から感じ取ったことを自分の考えとしてまとめ、友達と交流する手立てを示している。 ・「日本の歌、みんなの歌」「歌のアルバム」として、日本の歌や合唱曲集を掲載し、巻末には楽器や楽典のまとめを掲載している。 ・教科書の内容に関連した模範演奏の動画や音声、ワークシートを見たり聴いたりできるよう、「まなびリンク」のマークを掲載し、目次に二次元コードとURLを掲載している。 【分量・装丁】 ・判型はA4変型にしている。 ・巻末は折り込みページにしている。	【読みやすさの工夫】 ・「学びのユニット」では、領域・分野ごとに色分けし、各教材のページの帯も同じ色で示している。 ・教材ごとに、教材名や活動、活動の目標、学習内容が関連するページをマークを用いて示している。 ・「カラーユニバーサルデザイン」に配慮しています」「ユニバーサルデザインフォントを使用しています」と記載している。 ・作曲者、楽器名などにはルビを振っている。 ・歌唱共通教材は、縦書きの歌詞を別記し、語句に解説を加え、情景の写真を掲載している。
27 教芸	中学生の音楽 1 中学生の音楽 2・3上 中学生の音楽 2・3下	・音楽的な見方・考え方を働かせるための視点として、教材ごとに「音楽を形づくっている要素」を示したり、1年間の学びを一覧にして示したりして、学習に見通しをもたせる工夫をしている。 ・課題意識をもって、友達と対話や協働しながら学習する手立てや、キャラクターが考える視点を例示するなど、主体的・協働的な学びを充実するための工夫をしている。 ・我が国や世界の多様な音楽に触れ、そのよさや特徴を感じ取り、生活や社会の中の音や音楽との関わりに関心をもつ工夫をしている。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、我が国の伝統的な音楽文化や郷土の音楽、我が国で長く歌い継がれている歌、諸外国の伝統的な音楽を掲載し、音楽を通して多様性を学び、他者や他国を尊重する姿勢を育む工夫をしている。	【知識・技能】 ・「音楽を形づくっている要素」のコーナーでは、[共通事項]に示されている音楽を形づくっている要素を、教材と関連付けて示している。 ・「My Voice!」では、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を習得するための手立てを掲載している。 ・「指揮をしてみよう」では、教材曲を聴きながら指揮をして、実感を伴って音楽の特徴を感じ取る手立てを掲載している。 【思考・判断・表現】 ・教材ごとに音楽的な見方・考え方を働かせる際の視点となる、音楽を形づくっている要素を掲載している。 ・キャラクターを活用して、グループ活動の話し合いの例や思考を促すヒントを示している。 ・「My Melody」「Let's Create!」では、創作の課題と手順を示し、作品例を参考に試行錯誤して活動に取り組む教材を掲載している。 ・「深めよう！音楽」では、学習の流れを示し、音楽的な特徴を書き込む欄やそれを基に話し合う手立てを掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各教材に学習目標、学習目標に迫るための具体的な学習活動を示している。 ・第1学年では、変声期について、そのしくみと音域の変化や心がけること、について掲載している。 ・「仕事と音楽」「SDGs」「アウトリーチ」「音や音楽の役割」「能 敦盛」など、他教科と関連した学習、生活や社会の中にある音や音楽への関心を促す内容を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・多様性を尊重する社会の担い手を育む教育に関連して、「音楽ってなんだろう？」のコーナーで世界の多様な音楽及び我が国の各地の民謡や「能」「文楽」「歌舞伎」などの伝統芸能を掲載している。 ・共生・協働の精神をもち、共生社会を実現していくことに関連して、「曲のよさをプレゼンしよう」「Let's Create!」では、友達と対話をしたり、協働的に学習を進めたりする手立てを掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に、「1年間の学習」について、身に付ける資質・能力とそれに対応する学習内容や教材、音楽を形づくっている要素を示している。 ・音楽から感じ取ったことを自分の考えとしてまとめ、友達と意見を出し合いながら交流する手立てを示している。 ・「歌い継ごう日本の歌」「心通う合唱」として、日本の歌や発展的な合唱教材を掲載し、巻末には音楽史や楽典のまとめを掲載している。 ・教科書の内容に関連した作曲者や楽曲についての学習資料のほか、模範演奏の動画や音声を見たり聴いたりできるよう、該当ページに二次元コードを掲載している。 【分量・装丁】 ・判型はA4変型にしている。 ・全体を通して同じ綴じ方にしている。	【読みやすさの工夫】 ・領域・分野ごとに各教材のページの帯を色分けしている。 ・教材ごとに、教材名や活動、ねらい、学習の視点となる音楽を形づくっている要素を言葉で示している。 ・「ユニバーサルデザイン」への取り組み～全ての生徒にとって使いやすく」「ユニバーサルフォントを採用しています」と記載している。 ・作曲者、楽器名などにはルビを振っている。 ・歌唱共通教材は、縦書きの歌詞を別記し、語句に解説を加え、情景の写真や絵を掲載している。

令和3年度使用教科用図書審議結果 ⑦

音楽(器楽合奏)

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領 との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	中学器楽 音楽のお くりもの	<p>・学習に見通しをもつために、見開きごとに「学びのねらい」、「学びのポイント」、「まとめの曲」を掲載している。</p> <p>・基礎的な知識や技能の習得に向け、「演奏の仕方を身につけよう」を示している。また、習得した知識や技能を活用して学習を深めるために、「合わせて演奏しよう」「名曲旋律集」のコーナーを設けている。</p> <p>・我が国や世界の多様な音楽に触れ、そのよさや特徴を感じ取り、生活や社会の中の音や音楽との関わりに関心をもつ工夫をしている。</p>	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、和楽器の奏法や関連する楽曲の鑑賞の活動、和楽器と洋楽器を比較する教材を掲載し、我が国の伝統と文化、他国を尊重する態度を養う工夫をしている。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・演奏に必要な知識・技能の習得に向けて、楽器の構え方や演奏の姿勢、奏法に関する写真や絵、解説を掲載している。</p> <p>・曲想と音楽の構造などとの関わりについての理解を促す内容を「学びのねらい」で示している。</p> <p>・和楽器の音を日本語の響きによって表す唱歌を「唱歌について」のコーナーで説明し、楽器の特徴を感じ取るために、和楽器の楽譜には適宜「唱歌」を表記している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・キャラクターを活用して、楽器を創意工夫して演奏する際のアドバイスや解説などを示したり、「何が同じで、何が違う？」のコーナーでは、楽器を比較しながら鑑賞をし、協働的な学習を進める手だてを掲載している。</p> <p>・「不思議な旋律PART1、2」のコーナーでは、音楽を形づくっている要素を手がかりに、友達と協働的に合奏を完成させる学習を掲載している。</p> <p>・「音のスケッチ」では、器楽の学習で習得した知識を活用して、創意工夫の活動や創作の活動の手順を示し、実際に音で確かめながら学習を進めていく手立てを示している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・「学びのねらい」では、学習のねらいや活動を示し、各教材曲には「学びのポイント」を示している。「まとめの曲」で学んだ内容を確認し、学びが段階的に発展していくように掲載している。</p> <p>・リコーダーの教材は、小学校で使用したソプラノリコーダーでも対応できる曲を掲載している。</p> <p>・「発展」のコーナーでは、学習したことを生かして、さらに発展的に取り組む教材を掲載している。</p> <p>【かわさき教育プラン】</p> <p>・多様性を尊重する社会の担い手を育む教育に関連して、「音のスケッチ」では、グループで創作する活動を掲載するなど、アンサンブルや創作の活動の中で、協働的に学習を進める教材を掲載している。</p>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <p>・前半に各楽器の歴史や基本的奏法の学習を掲載し、後半にリコーダーの合奏やアンサンブル教材を掲載している。</p> <p>・「話し合おう」では、自分の意見を友達に紹介する手立てを掲載している。</p> <p>・教科書の内容に関連した模範演奏の動画や音声、ワークシートを見たり聴いたりできるよう、「まなびリンク」のマークを掲載し、目次に二次元コードとURLを掲載している。</p> <p>【分量・装丁】</p> <p>・判型はA4変型にしている。</p> <p>・巻末は折り込みページにしている。</p> <p>・リコーダー、ギター、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八の教材を掲載している。</p>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <p>・学習する楽器について、楽器や演奏している様子の写真やイラストを掲載している。</p> <p>・「カラーユニバーサルデザインに配慮しています」「ユニバーサルデザインフォントを使用しています」と記載している。</p> <p>・巻末に折り込み見開きで「リコーダー運指表」と「ギター&キーボードコード表」のコーナーを掲載している。</p>
27 教芸	中学生の 器楽	<p>・学習に見通しをもつために、1年間の学習や三つの資質・能力を一覧にして示し、教材に学習目標や目標に迫るための活動文を示している。</p> <p>・基礎的な知識や技能の習得に向け、写真や絵を効果的に用いて、説明している。また、習得した知識や技能を活用して学習を深めるために、様々な楽器編成やジャンルの音楽の合奏曲を掲載している。</p> <p>・我が国や世界の多様な音楽に触れ、そのよさや特徴を感じ取り、生活や社会の中の音や音楽との関わりに関心をもつ工夫をしている。</p>	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、我が国の伝統的な音楽や楽器、諸外国の音楽で使用する楽器を掲載し、我が国や諸外国に伝わるさまざまな音楽に触れ、伝統と文化を尊重する態度を養う工夫をしている。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・演奏に必要な知識・技能の習得に向けて、姿勢と構え方、奏法を写真や絵、解説を用いて段階的に手順を掲載している。</p> <p>・曲想と音楽の構造などとの関わりについての気付きや理解を促す内容のコラムや「Q&A」のコーナーを掲載している。</p> <p>・和楽器の特徴を感じ取るために、和楽器の音を日本語の響きによって表す「唱歌」の例や「唱歌を歌ってみよう」のコーナーを掲載している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・キャラクターを活用して、思考・判断・表現を行うためのヒントを示したり、「深めよう！音楽」では、考える観点を例示したりしながら、協働的な学習の手だてを掲載している。</p> <p>・「アンサンブルセミナー」のコーナーでは、音楽を形づくっている要素を手がかりに、表現の創意工夫について考えたり、対話をしたりしながら学習を進める手だてを掲載している。</p> <p>・「My Melody」では、箏の学習を生かした創作活動を掲載し、創作の課題や手順、思考した内容を書き込めるコーナーを設け、実際に音で確かめながら学習を進めていく手立てを示している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・巻頭に、各教材を通して身に付ける資質・能力とそれに対応する学習内容や教材、[共通事項]に示されている音楽を形づくっている要素を一覧で掲載している。各教材に学習目標と学習目標に迫るための具体的な学習活動を示している。</p> <p>・リコーダーの教材は、小学校で使用したソプラノリコーダーでも対応できる曲を掲載している。また、小学校の学習内容を生かした打楽器の教材を掲載している。</p> <p>・「楽器でMelody」では、学習したことを生かして取り組む発展的な教材を掲載している。</p> <p>【かわさき教育プラン】</p> <p>・多様性を尊重する社会の担い手を育む教育に関連して、様々な編成やジャンル、異なる楽器を用いたアンサンブル曲を掲載し、アンサンブルのグループ活動の中で、協働的に学習を進める教材を掲載している。</p>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <p>・はじめにアンサンブル曲を配置し、中間部分に各楽器の音色の鑑賞と歴史、基本的奏法の学習、最後に学習を生かして取り組むアンサンブル教材を掲載している。</p> <p>・アンサンブルや創作の活動を通して、友達と対話的・協働的な学習を進める内容を掲載している。</p> <p>・教科書の内容に関連した演奏家の情報、演奏の動画や音源などをウェブサイトで閲覧できるよう、該当ページに二次元コードを掲載している。</p> <p>【分量・装丁】</p> <p>・判型はA4変型にしている。</p> <p>・全体を通して同じ綴じ方にしている。</p> <p>・リコーダー、ギター、打楽器、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八の教材を掲載している。</p>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <p>・学習する楽器について、楽器や演奏している様子を写真やイラストを用いて説明している。</p> <p>・「ユニバーサルデザインへの取り組み～全ての生徒にとって使いやすく」「ユニバーサルデザインフォントを使用しています」と記載している。</p> <p>・巻末に見開きで「リコーダーの運指表」と「ギター/キーボードコード表」のコーナーを掲載している。</p>

令和3年度使用教科用図書審議結果 ⑦

美術

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
9 開隆堂	美術1 発見と創造 美術2・3 探求と継承	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習の目標」を資質・能力の三つの柱に基づいて掲載している。 ・全ての題材には、学習活動のねらいに迫る手立てを、学習のポイントに掲載している。 ・各巻ごとに、学習内容の見通しをもつための内容を掲載している。 ・美術で学んだことを普段の生活や社会で生かす内容を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関して、生徒が主体的に議論しながら、自分の考えを上げたり深めたりすることができるような活動を促している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての題材の、「学習のポイント」に学習活動のねらいに迫る手立てを掲載している。 ・題材に応じた技法や用具の取り扱い方について説明している「学びの資料」のページを、各巻末に掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発想や構想の手立てとなるように、作品の説明、作者の言葉、アイデアスケッチ、手順を掲載している。 ・全体の鑑賞と部分の鑑賞のために、全体が分かる図版と部分を原寸大にした図版を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各巻毎に領域の最初のページに、学習を通して学ぶ内容について説明しているページを掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者との違いを認め、尊重しあうことに関連して、「祭りの造形」を掲載している。 ・豊かな心の育成に関連して、ページの下部に道徳に関わる内容項目を掲載し、社会的な自立や「自分をつくる」ことに関連して、ページの下部に他教科と関わる内容を掲載している。 ・学ぶこと、働くこと、生きることの尊さに関連して、「美術の力を生かして社会と関わる」を掲載し、「暮らしに生きる美術」では様々な分野で活躍する人の話を掲載している。 ・多様性を生かしてともに支え、高めあえる社会を目指すことに関連して、美術2・3の巻末の「学びの資料」に共同制作を紹介する「共に学ぶ美術」を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材名の横に、「学習の目標」を三つの資質・能力で示している。 ・技法や参考作品等を見ることができる二次元コードを、全ての表現題材の題材名の横に掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4変型判にしている。 ・美術1には17題材、美術2・3には39題材掲載している。 ・2ページで題材を構成し、題材によっては4ページで構成している。 ・鑑賞の題材では、観音開きで見られるページを設けている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の目標」を、色別のマークで表記している。 ・題材名を太い書体で表記している。 ・ツメ見出しの文字と色彩で、学習内容を表記している。 ・「ユニバーサルデザインフォントを採用しています」、「カラーユニバーサルデザインの観点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるように配慮しています」と記載している。 ・中学校以上で習う漢字に全てルビを振って表記している。
38 光村	美術1 美術2・3	<ul style="list-style-type: none"> ・表現と鑑賞の領域ごとに目標を掲載している。 ・発想や構想、表現の手順等の参考になるように、生徒の制作過程を掲載している。 ・題材の中で表現と鑑賞を一体的に扱って学習できるように、問いと手立てを掲載している。 ・トレーシングペーパーや和紙などのページを設け、実感を伴う鑑賞になるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関して、各題材の最初に鑑賞図版を設け、生徒が主体的に作品を鑑賞し、対話が生まれるような活動を促している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材に応じた形や色彩や材料についてのページを、各巻末に掲載している。 ・題材に応じた技法や用具の取り扱い方について説明している「学習を支える資料」のページを、各巻末に掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発想や構想の手立てを全ての題材に掲載し、題材によっては生徒の制作過程を示した「みんなの工夫」を掲載している。 ・実感を伴う鑑賞の手立てとなるように、原寸大にした図版を掲載している。 ・表現と鑑賞を一体的に学習できるように、問いと手立てを掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術1では各領域の最初のページに、学習を通して学ぶ内容について説明しているページを掲載している。 ・生徒が美しいと思った瞬間や風景について、生徒の撮影した写真と共に手書きの言葉を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者との違いを認め、尊重しあうことに関連して、世界各地の様々な仮面を題材にした「世界の仮面と出会う」を掲載している。 ・豊かな心の育成に関連して、道徳と関連するページの下部には内容項目を掲載している。 ・社会的な自立や「自分をつくる」ことに関連して、他教科とのつながりに関連する題材のページに、コラムを掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材名の下に、表現と鑑賞の領域ごとに「目標」を示している。 ・技法や参考作品等を見ることができる二次元コードを掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4判にしている。 ・美術1には17題材、美術2・3には22題材掲載している。 ・2ページで題材を構成し、題材によっては4ページで構成している。 ・鑑賞の題材では、観音開きで見られるページを設けている。 ・版画、絵巻物、漫画のページには、画用紙の様な風合いの用紙を使用し、生徒が直接書きこめるようにトレーシングペーパーを使用しているページを掲載している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材名を太い書体で示し、説明文は明朝体で表記している。 ・ツメ見出しの文字と色彩で、学習内容を表記している。 ・「小さく掲載する文字については、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を採用しています」、「カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の観点から、全てのページについて専門家の校閲を行っています」と記載している。 ・中学校以上で習う漢字を中心に、ルビを振って表記している。
116 日文	美術1 美術との出会い 美術2・3上 学びの実感と広がり 美術2・3下 学びの探求と未来	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びの目標」を資質・能力の三つの柱に基づいて掲載している。 ・美術を豊かに捉える視点を意識するために、造形的な視点を全ての題材で示している。 ・実物に近い色合いの図版を掲載し、屏風を立てて鑑賞しやすくするなど、実感を伴う鑑賞活動になるようにしている。 ・美術で学んだことを普段の生活や社会で生かす内容を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関して、生徒が考えを伝え合ったり、友達と対話したりしながら活動を行う様子を紹介し、他者との対話を通して考えるような活動を促している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術を豊かに捉える視点を意識するために、「造形的な視点」を全ての題材に掲載している。 ・題材に応じた技法や用具の取り扱い方について説明している「学習を支える資料」のページを、各巻末に掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発想や構想の手立てとなるように、作品の説明、作者の言葉、アイデアスケッチ、手順を掲載している。 ・実際の版画の色に近づけたインキを使用して原寸大にした図版を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術1では各領域の最初のページに、学習を通して学ぶ内容について説明しているページを掲載している。 ・生活の中にある美しいものについて、生徒が撮影した写真を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者との違いを認め、尊重しあうことに関連して、「祭りを彩る造形」を掲載している。 ・豊かな心の育成に関連して、道徳と関連するページの下部にはマークと共に内容項目を掲載し、社会的な自立や「自分をつくる」ことに関連して、他教科と関連する題材には写真を掲載している。 ・学ぶこと、働くこと、生きることの尊さに関連して、「社会に生きる美術の力」のページを設け、様々な分野で活躍する人の話を掲載している。 ・多様性を生かしてともに支え、高めあえる社会を目指すことに関連して、共同制作の題材として「仲間との交流の中から」を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材名の横に、「学びの目標」を三つの資質・能力に基づいて、マークと文章で示している。 ・技法や参考作品等を見ることができる二次元コードを掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4変型判にしている。 ・美術1には19題材、美術2・3上には18題材、美術2・3下には17題材掲載している。 ・2ページで題材を構成し、題材によっては4ページで構成している。 ・鑑賞の題材では、観音開きで見られるページを設けている。 ・立たせて鑑賞できるように屏風のページには厚い用紙を使用し、立ちやすいように造本上の配慮をしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びの目標」を、色別のマークで表記している。 ・ツメ見出しの文字と色彩で、学習内容を表記している。 ・「ユニバーサルデザインフォントを採用しています」、「カラーユニバーサルデザインに配慮しています」と記載している。 ・中学校以上で習う漢字を中心に、ルビを振って表記している。 ・表現と鑑賞が独立している題材と、相互に関わり合っている題材を示すマークを題材名の左部に表記している。

令和3年度使用教科用図書審議結果 ⑦

保健体育

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 実践力を育成することができるよう、実生活に結び付ける学習課題や健康に関する今日的な課題を取扱っている。 思考力・判断力・表現力等を養うことができるよう、「話し合ってみましょう」等で対話的な活動を設定している。 学習意欲を高め、学びを深めることができるよう、「章末資料」「読み物」等に、今日的な課題に関する内容を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、「見つける」「課題の解決」「広げる」等において、日常生活や資料を基に話し合ったり、表現したりする活動を設定している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> まとめ部分の「広げる」で、学習したことを自分の生活に当てはめたり、更に調べたりする学習活動を示している。また、二次元コードから、応急手当等の動画を確認できるようにしている。 知識の習得状況を確認し、学習が定着するよう、各章末に「学習のまとめ」というページを設け、「確認の問題」「活用の問題」「日常生活に生かそう」を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向けて「考えてみましょう」「話し合ってみましょう」「発表してみましょう」といった発問を掲載している。 習得した知識を活用して思考を深め、実践力の育成につなげられるよう、「活用する」で実生活に結び付ける学習課題を示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 興味・関心を高め、主体的に学習に取り組むことができるよう、口絵に「オリンピック・パラリンピックのメッセージ」「人と人をつなぐスポーツ」「運動やスポーツと食事」「支え合って生きている」「この教科書の使い方」を掲載している。 理科、家庭科、社会科、道徳科との関連を示すマークを掲載するとともに、二次元コードから、それらの教科書紙面を見ることができ「Dマーク」を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現することと関連して、発展学習「共に生きる」において、避難所での活動や高齢者訪問など、地域と中学生との関わりを示し、自分たちに何ができるかを考える学習を取り扱っている。 個人や社会の多様性を尊重することと関連して、「章末資料」において、発展的な内容として、「性の多様性」を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対話的な学習ができるよう、情報収集やディスカッション、ロールプレイングの方法や留意点を巻頭に掲載している。 二次元コードと「コンテンツ内容一覧」を巻頭に掲載している。コンテンツは、動画の他に、関連する他教科の教科書紙面を見ることができるものや、危険予測シミュレーション等を設けている。関連するページに「Dマーク」を示している。 「見つける」「課題の解決」「広げる」という学習活動の流れで構成している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> AB判で作成している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文は明朝体、重要語句は太字ゴシック体で表記している。 本文中に関わりのある資料番号を掲載し、関連を示している。 「全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています」「ユニバーサルデザインフォントを採用しています」と記載している。
4 大日本	中学校保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 実践力を育成することができるよう、学習したことを自分の生活に当てはめて考える活動を設定している。 思考力・判断力・表現力等を養うことができるよう、「話し合ってみよう」等で対話的な活動を設定している。 健康・安全に関する興味や関心を高め、学びを深めることができるよう、「トピックス」「ミニ知識」等を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、対話的な活動を通して思考を広げ、学びを深めていけるよう、「話し合ってみよう」等を設定している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> まとめ部分の「活用して深めよう」で実生活につながる学習課題を示している。また、二次元コードから、まとめの問題を確認できるようにするとともに、応急手当等の動画を確認できるようにしている。 知識が定着するよう、各章末で要点の再確認ができる資料を掲載したり、「重要な言葉」を説明するページを設けたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料を見て考えたり伝えたりすることができるよう、「話し合ってみよう」で、自分の考えを伝えたり仲間の考えを聞いたりする学習活動を設定している。 学びを広げ、深めながら、日常生活に生かせるよう、各章末ごとに「学びを活かそう」というページを設けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 興味・関心を高め、主体的に学習に取り組むことができるよう、口絵に「生きがいのある豊かな生活を！」「スポーツは世界の言葉」「スポーツはみんなができる、みんなをつなげる」「オリンピック・パラリンピック」「世界で活躍する人々を支える健康」「私たちの健康を支える食事」「私たちの生活とスマートフォン」「この教科書の使い方」を掲載している。 理科、家庭科、社会科との関連を表すマークを掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現することと関連して、「学びを活かそう」で、中学生が避難所でできることを掲載し、自分でできそうなことを考え、グループで話し合う学習を設けている。 個人や社会の多様性を尊重することと関連して、性別に関わりなく個性や能力を大切にすることに関する内容を、トピックス「個性や能力を大切にする」に掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対話的な学習ができるよう、ブレインストーミングやロールプレイングなどの説明を巻頭の「保健体育の学び方」で示している。 二次元コードを巻頭に掲載している。コンテンツは、動画、学習内容に関連する機関のホームページ等にアクセスできるもの、まとめの問題や解答を印刷して使用できるものを設けている。関連するページに「WEBマーク」を示している。 「つかもう」「やってみよう」「活用して深めよう」という学習活動の流れで構成している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> B5変型判で作成している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要語句を太字で表記している。 1学年では文章が文節の途中で切れない改行をしている。 主題の横に関わりのある資料番号を掲載して関連を示し、資料を見開き右側ページにまとめている。 「ユニバーサルデザインフォントを採用しています」と記載している。
50 大修館	最新中学校保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 実践力を育成することができるよう、実生活に結び付ける学習課題を設定したり、生活に関連する情報を「コラム」等に掲載したりしている。 学習を深めることができるよう、「意見を出そう」「話しあおう」等で対話的な学習活動を設定している。 生徒が興味をもって学習することができるよう、今日的な健康課題に関する内容を「特集資料」「保健の窓」等に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、対話的な活動を通して学習を深めることができるよう、「意見を出そう」「話しあおう」等を設定している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> まとめ部分の「学習のまとめ」で、学習したことを基に、キーワードを入れて文章を完成させる問題を掲載したり、実生活でどう生かしていくかを考える学習活動を示したりしている。また、学習を深めるため、二次元コードから関連する機関のホームページにアクセスできるようにするとともに、一次救命処置等の動画を確認できるようにしている。 知識の習得状況を確認し、学習が定着するよう、各章末に「章のまとめ」というページを設け、「知識・技能の確認問題」「思考・判断・表現の問題」「学びに向かって」「学習の振り返り」を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習したことをさらに深めるために、「学習のまとめ」で思考したり話し合ったりする学習活動を掲載している。 学習を深めるために、「特集資料」や「クローズアップ」というページを設けるとともに、気付きや思考を促す「課題をつかむ」というコーナーを設けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 興味・関心を高め、主体的に学習に取り組むことができるよう、口絵に「オリンピック・パラリンピックに世界中の人が注目！」「私たちの成長と運動やスポーツの広がり」「共に生きる」「よりよい未来に向けて」「この教科書の使い方」を掲載している。 理科、家庭科、社会科との関連を表すマークを掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現することと関連して、口絵「共に生きる」で、中学生が被災者に寄り添う活動を掲載している。 個人や社会の多様性を尊重することと関連して、性意識の固定観念が社会にみられることの問題点について、脚注に掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対話的な学習ができるよう、ディスカッション、ロールプレイングの方法や、発表・提案の仕方の例を巻頭に掲載している。 二次元コードを巻頭に掲載している。コンテンツは、関連する機関のホームページ等にアクセスする形式であり、政府インターネットテレビ等の動画も設けている。関連するページに「web保体情報館」というマークを示している。 「課題をつかむ」「学習のまとめ」という学習活動の流れで構成している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> AB判で作成している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要語句を太字で表記している。 本文中に関わりのある資料番号を掲載し、関連を示している。 「カラーユニバーサルデザインに配慮しています」「ユニバーサルデザインフォントを使用しています」と記載している。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
224 学研	中学保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活に結び付ける学習課題を通して、実践力を育成することができるよう、「考える・調べる」「探究しようよ！」等を設定している。 ・学びを広げたり深めたりできるよう、課題解決学習の中で対話的な活動が充実するような発問を設定している。 ・学習意欲を高め、学びを深めることができるよう、健康や安全に関する今日的な課題や資料を「コラム」等に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、対話的な活動を通して学習を深めることができるよう、話し合ったり、表現したりする活動を設定している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめ部分の「まとめる・深める」で、理解したことを実生活と結び付けて考えたり、話し合ったりする活動を示している。また、学習を深めるため、二次元コードから関連する機関のホームページにアクセスするとともに、心肺蘇生法等の動画を確認できるようにしている。 ・知識の定着を図るため、各章末に「章のまとめ」というページを設け、「振り返ろう」で自己評価ができる発問を掲載するとともに、「確かめよう」「生かそう」「生活への活用」を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けて、「考える・調べる」で、考えたり調べたり話し合ったりする学習活動を示している。 ・習得した知識を活用し、より深い学びにつながるよう、「探究しようよ！」「もっと広げる・深める」というページを設けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心を高め、主体的に学習に取り組むことができるよう、口絵に「スポーツで世界を一つに」「スポーツ・健康・安全の分野で活躍する人たち」「いつでも話せる相手があります」「科学技術で変わるスポーツや健康の世界」「中学校生活と食事」「行って、見て、学ぼう」「この教科書の使い方」を掲載している。 ・社会科、理科、家庭科、道徳科との関連について、巻末に見開きでキーワードごとに分類した一覧を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現することと関連して、「探究 みんなの健康を守るための活動」で、豪雨被害を受けた施設でボランティア活動をする中学生の写真を掲載し、中学生ができる活動や、将来どんな活動をしたいかを考える学習を示している。 ・個人や社会の多様性を尊重することと関連して、章のはじめに「”少数者の声を、社会を変える力に”」を掲載している。また、脚注にLGBT等の説明を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話的な学習ができるよう、ディスカッション、ブレインストーミングの方法を巻頭に掲載している。 ・二次元コードを巻頭に掲載している。コンテンツは、関連する機関のホームページ等にアクセスするものであり、危険予測トレーニングにアクセスするものや、動画も設けている。関連するページに「リンクマーク」を示している。 ・「課題をつかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」という学習活動の流れで構成している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AB判で作成している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要語句を太字で表記している。 ・本文中に関わりのある資料番号を掲載し、関連を示している。 ・「カラーユニバーサルデザインに配慮して制作しています」と記載している。

令和3年度使用教科用図書審議結果 ⑦

技術・家庭(技術分野)

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい技術・家庭技術分野未来を創るTechnology	<ul style="list-style-type: none"> 「問題解決カード」や「問題解決例」を掲載し、問題解決的な学習に主体的に取り組むことができるようにしている。 工具や電気機器の作業の手順や使用方法など、問題解決に必要な基礎的な技能を「TECH Lab」にまとめて掲載している。 社会で活躍する技術者との対話的な学びができるように「技術の匠」を掲載し、ものづくりにおける責任感や倫理観が理解できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視したものになっている。 教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、木造建築や木材の伝統的な接合技術について掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> 基本的な知識を身に付ける内容や、基礎的な技能を身に付ける「TECH Lab」では、本文に合わせて資料を写真や図で掲載している。 二次元コードから基礎的な技能の動画を視聴したり、生物育成や歯車の動きなどのシミュレーションを活用したりする学習ができるようにしている。 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> 問題解決のための「問題の発見、課題の設定」「設計・計画」「製作・制作・育成」「評価・改善・修正」の流れをガイダンスで示し、その流れに沿って学習できるようにしている。 各編の最終章に、持続可能な社会の構築に向けて、技術を評価し適切に管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良したりするためのワークシートを示している。 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> 技術分野のガイダンスとして現代の技術と未来の技術を示し、学習に関心を持てるようにしている。 各編の導入で、技術が最適化されてきた例を示し、学習内容への関心が高まるようにしている。 【かわさき教育プラン】 <ul style="list-style-type: none"> 学ぶことや働くことを実感することに関連し、「技術の匠」で様々な職種の方を紹介し、その方々の生徒への思いを掲載している。 共生社会の実現に関連し、「SDGsとTechnology」で持続可能な未来について考える内容を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 <ul style="list-style-type: none"> 4編構成で1編～4編となっており、1編～4編は学習指導要領の内容A～Dに対応している。巻頭に「技術分野のガイダンス」、巻末に「統合的な問題解決」などを示している。 各編とも「原理・法則と仕組み」「技術による問題解決」「社会の発展の技術」の3章(4編のみ4章)で構成している。 デジタルコンテンツのある学習内容には「Dマーク」を示し、二次元コードから動画などを活用した学習ができるようにしている。 【分量・装丁】 <ul style="list-style-type: none"> AB判にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 <ul style="list-style-type: none"> 各編は色分けされており、小口に1章～3章(D編のみ4章)を示している。教科書を閉じた状態でも、編と章が分かるようにしている。 「ユニバーサルデザインフォントを採用しています」と記載している。 重要な語句や図の中の文字にはゴシック体を使用している。ふりがなには特別支援教育で推奨されている丸ゴシック体を使用している。
6 教図	New技術・家庭技術分野明日を創造するNew技術・家庭技術分野明日を創造する技術ハンドブック	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示された技術分野の学習過程に対応した「設計の手順」を示し、問題解決的な学習を行うことができるようにしている。 基礎的・基本的な技能が実習を通して身に付けられるように、作業方法を別冊の「技術ハンドブック」にまとめている。 Society5.0やSDGsについて掲載し、学習した技術を将来どのように生かすことができるか考えられるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視したものになっている。 教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、日本の伝統野菜や、箱根寄せ木細工の職人など、日本の伝統文化と技術の関係を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識や実習で取り組む基本的な技能を身に付けるために、本文の周りに関連する資料を図や写真を用いて掲載している。 二次元コードで題材例で示した内容の動画を視聴したり、静止画で確認したりすることで、学習活動の参考にできるようにしている。 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> 問題解決の中から設計の手順として、「問題を発見する」「目的や条件をもとに構想を考える」「構想を具体化する」「設計をまとめる」を示し、設計・計画が立てられるようにしている。 各編の最終章では技術のプラス面・マイナス面について考え、評価・改善するためのワークシート例を掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> 技術分野のガイダンスで、技術が生活や社会の中で問題解決に役立つことに気付くようにしている。 学習内容に関連した技術が生かされている例や、過去に使われていた技術の例を掲載している。 【かわさき教育プラン】 <ul style="list-style-type: none"> 学ぶことや働くことを実感することに関連し、「将来のあなたへ 先輩からのメッセージ」で、将来の進路について考えるためのコラムを掲載している。 共生社会の実現に関連し、「未来の社会を創造しよう！」で、より住みやすい町づくりについて考える内容を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 <ul style="list-style-type: none"> 5編構成でA編～E編となっており、A編～D編は学習指導要領の内容A～Dに対応している。E編は「夢をかなえる技術」として、今まで学んできた技術を組み合わせる問題を解決する学習を掲載している。 各編とも「つくって・育てて学ぼう」「じっくり学ぼう」「学びを深め生かそう」の3章(D編のみ4章)で構成している。 二次元コードを掲載し、本文中の作業を動画などで見られるようにしている。 【分量・装丁】 <ul style="list-style-type: none"> A4変型判にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 <ul style="list-style-type: none"> 各編A～Eは色分けされており、小口に編中の章を示している。教科書を閉じた状態でも編と章が分かるようにしている。 「ユニバーサルデザインの考え方に基づいて編集されています」と記載している。 題名は丸ゴシック体、解説は明朝体、重要な語句には色付きの丸ゴシック体を使用している。ふりがなには特別支援教育で推奨されている丸ゴシック体を使用している。
9 開隆堂	技術・家庭技術分野テクノロジーに希望をのせて	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の流れとして「問題の発見と課題の設定」「設計と試作」「製作」「成果の評価と改善」を示し、PDCAサイクルに対応して考えられるようにしている。 実践的・体験的な学習を通して基礎的・基本的な知識・技能が身に付けられるように、実習例や参考となる資料等を写真やイラストを用いて示している。 最新の技術が社会で利用されている例を掲載し、技術の進歩が生活や社会に与える影響を理解できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視したものになっている。 教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、日本の伝統野菜や伝統工芸品など、日本の伝統文化と技術の関係を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識や技能が身に付くように、内容を精選して製作に使用する工具の使用法や、作業のポイントを写真やイラストで掲載している。 二次元コードから製作や育成のための作業方法を動画で視聴したり、制作に必要な資料を確認したりできるようにしている。 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> 問題解決の流れとして、「問題の発見と課題の設定」「設計と試作」「製作」「成果の評価と改善」を示し、流れに対応した内容が記載されている。 各編の最終章で、学習してきた技術を評価し、適切な活用について考えることができるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> 技術分野のガイダンスの中で技術の役割について示し、社会や生活に生かされている技術に関心を持てるようにしている。 各編の最初に学習内容に関連する技術についての歴史を示し、学習内容への関心が高まるようにしている。 【かわさき教育プラン】 <ul style="list-style-type: none"> 学ぶことや働くことを実感することに関連し、「技術の未来は私たちの手で」の中で、これからの技術開発について考える内容を掲載している。 共生社会の実現に関連し、「技術分野の学習をふり返り、私たちの未来へつなげよう」で、持続可能な社会について考える内容を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 <ul style="list-style-type: none"> 4編構成でA編～D編となっており、A編～D編は学習指導要領の内容A～Dに対応している。巻頭に「技術ガイダンス」、巻末に「技術分野を振り返り、私たちの未来につなげよう」を掲載している。 各編とも「生活や社会と技術」「技術による問題解決」「これからの技術」の3章で構成している。 二次元コードを掲載し、動画や補助資料を確認できるようにしている。 【分量・装丁】 <ul style="list-style-type: none"> AB判にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 <ul style="list-style-type: none"> 各編A～Dは色分けされている。 「カラーユニバーサルデザインの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるようなデザイン上の配慮をしています」と記載している。 題名と重要な語句はゴシック体、本文は明朝体とし、フォントを使い分けて表記している。ふりがなについては、漢字と同じフォントを使用している。

令和3年度使用教科用図書審議結果 ⑦

技術・家庭(家庭分野)

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生 を目指して	・生活の営みに係る見方・考え方を働かせて問題解決的な学習が進められるように、生活の中の問題に気づかせるような発問や活動例を掲載している。 ・基礎的・基本的な知識・技能を実践的・体験的に身に付けるように活動例等を示し、「いつも確かめよう」にポイントをまとめて掲載している。 ・今日的な課題に主体的に取り組めるように、SDGsに関連した資料や地域での活動例を掲載している。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して「和食」、「日本の衣食文化」、「住まいと気候風土の関わり」等を「伝統文化」マークをつけて掲載している。	【知識・技能】 ・基礎的な技能や知識に関する内容を「いつも確かめよう」にまとめて掲載している。また、二次元コードから基礎的な技能の一覧を確認し、必要に応じて選択し動画を確認できるようにしている。蒸す調理の方法を安全のポイントも含めてイラストで示し、実習例を4例掲載している。 ・日本の伝統文化の良さや大切さを理解できるように、関連する資料に「伝統文化」マークを掲載している。 ・日常生活で使用する独特の言い回しや名称は、巻末の「言葉のページ」にまとめて掲載している。 【思考・判断・表現】 ・各編の導入に生活の営みに係る見方・考え方を示し、キャラクターの吹き出しで具体的な関連を示している。 ・問題解決する道筋を「①課題発見②計画③実践④評価⑤改善⑥次の課題①へ」という流れでガイダンスに生活の営みに係る見方・考え方とともに示している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しがもてるように各編の導入に「この編で学ぶこと」を掲載し、各節のはじめに「目標」、「キーワード」、「やってみよう」など活動を促す言葉、おわりに「まとめよう」など学習を振り返る活動例を示している。 ・小学校の学習を振り返ることができるように、ガイダンスで小中学校の学習内容を比較した表を掲載している。 ・学習したことを家庭生活へ生かせるように節末の「まとめよう」「生活に生かそう」で学習課題を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・地域の一員として生活していくために、高齢者との関わり方を理解し、「地域でできることを考えよう」として、地域の人々と協働する方法を探る活動例を問題解決的な学習の流れで掲載している。 ・共生社会の実現に関連して、各章のおわりに「持続可能な〇〇生活を目指して」として、SDGsや消費者教育と関連した学習内容を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・掲載内容の順番を、ガイダンス、衣食住の生活、消費生活・環境、家族・家庭生活、選択「生活の課題と実践」としている。 ・各編とも学習の見通しをもつ「編の導入」、学習活動の「基本のページ」、振り返りの「学習のまとめ」で構成している。 ・「家庭分野のガイダンス」で、家庭分野の目標、家族・家庭の基本的な機能等を図と言葉で掲載している。 ・デジタルコンテンツの資料がある学習内容に「Dマーク」を示し、目次ページおよび各編の導入ページの二次元コードから、関連する他教科の内容や実習・実験等の動画が確認できるようにしている。 【分量・装丁】 ・判型はAB判にしている。 ・主たる調理実習例は見開き2ページで写真を用いて、手順が左から右へと流れるように示している。	【読みやすさの工夫】 ・各編やタイトルごとに色分けをして示している。 ・「ユニバーサルデザインフォントを使用している」と記載している。 ・重要な語句や家庭科の基礎的・基本的な用語は太字のゴシック体で表記している。 ・「資料」「図」に学習の資料として扱えるような写真、表、グラフ、実習・製作例等を示している。 ・小学校や他教科での学習内容、安全、衛生、伝統文化などに関わる内容には関連が分かるようにマークを掲載している。
6 教図	New技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する	・生活の営みに係る見方・考え方を働かせることができるように、「課題設定のヒント」を示し、課題解決学習の進め方を工夫している。 ・基礎的・基本的な知識・技能を実践的・体験的な活動を通して身に付けられるように実習例や資料等を示している。 ・今日的な課題に主体的に取り組めるようにSDGsの資料や地域での活動例等を示している。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、「年中行事と私たちの暮らし」、「伝承遊び」、「和食」などを取り上げて「伝統文化」マークをつけて掲載している。	【知識・技能】 ・基礎的な技能に関する内容を「やってみよう」のページにまとめて掲載している。また、二次元コードから動画で確認できるようにしている。蒸す調理として、蒸し器やフライパンを使用して調理する実習例を4例掲載している。 ・日本の伝統文化を理解するために、巻頭に「年中行事と私たちの暮らし」を掲載している。 ・日常生活で使用する独特の言い回しや名称は、注釈や資料等で説明を示している。 【思考・判断・表現】 ・生活の営みに係る見方・考え方を働かせることができるように、「学びを生かそう」で「課題設定のヒント」を掲載している。 ・課題解決学習の流れを「①問題を発見する②課題を設定する③計画・実践する④評価する⑤改善する⑥次の課題①へ」として巻頭に示している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各編のはじめに「自立度チェック」、各章のはじめに「めあて」、「キーワード」、「話し合ってみよう」など学習活動を促す言葉、おわりに「確認」、「私のまなび」で振り返る活動を掲載している。 ・ガイダンスの内容に小学校の学習を想起させる言葉を示している。 ・家庭への実践につながるように、各章末の「学びを生かそう」で学習課題を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・地域の一員として生活していくために、高齢者の身体的な特徴を理解し、地域で行われている活動を調査する活動例を掲載している。 ・共生社会の実現と関連して、消費生活・環境の編のはじめに「持続可能な社会を目指そう」として生活とSDGsの関連を考える問いかけを掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・内容の順番を、ガイダンス、家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境、選択「生活の課題と実践」としている。 ・各編とも自立度チェック等の「導入」、知識や技能を身に付ける「やってみよう」、思考力、判断力、表現力を養う「学びを生かそう」、確認問題の「章末のまとめ」で構成している。 ・「家庭分野のガイダンス」で中学校での学習内容の説明、今までの生活とこれからの生活を考える内容を記載している。 ・動画等のデジタルコンテンツの資料がある学習内容のページの右上に二次元コードを掲載し、各編に関連した内容の一覧が確認できるようにしている。 【分量・装丁】 ・判型はA4変型判にしている。 ・主たる調理実習例は見開き2ページで写真を用いて、手順が上から下へと流れるように示している。	【読みやすさの工夫】 ・各編やタイトルごとに色分けをして示している。 ・「ユニバーサルデザインの考え方に基づいて編集している」と記載している。 ・重要な語句は青字のゴシック体で表記している。 ・「資料」「図」に学習の資料として扱えるような写真、表、グラフ、実習・製作例等を示している。 ・他教科や小学校、他の学習内容との関連、伝統、安全、衛生に関連した内容には、関連が分かるようにマークを掲載している。
9 開隆堂	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生	・生活を見つめ、自分の関心に気づき、学習が始められるように、生活の営みに係る見方・考え方を「生活の見方・考え方」として示している。 ・実践的・体験的な学習を通して基礎的・基本的な知識・技能を身に付けられるように、実習例や参考となる資料等を示している。 ・これからの家庭生活を環境や人権等に配慮して送れるように、SDGsの資料や多様な人々についての資料を掲載している。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、特設ページを設けて衣食住に関する伝統文化をまとめて掲載している。	【知識・技能】 ・基礎的な技能に関する内容を関係する内容にまとめて記載している。また、調理実習の手順は二次元コードから工程ごとに動画で確認ができるようにしている。蒸す調理について、蒸し器の使い方を写真で示し、実習例を2例掲載している。 ・伝統的な生活文化を理解するために、特設ページに資料をまとめて掲載している。 ・日常生活で使用する独特の言い回しや名称は、注釈や資料で説明を示している。 【思考・判断・表現】 ・生活の営みに係る見方・考え方を「生活の見方・考え方」として、ガイダンスに示している。 ・課題解決の流れを「①生活をみつめる②課題を設定する③計画を立てる④実践する⑤まとめ・発表する⑥生活にいかす」とし「生活の課題と実践」に示している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各内容のはじめに学習のねらいを示し、小題材ごとに目標、学習活動を促す言葉、大題材末に「ふり返り」を掲載している。 ・小学校での学習を振り返ることができるように、関連する学習内容に「小学校での学び」を掲載している。 ・学習したことが地域や家庭で実践へつながるように、各章末の「生活にいかそう」で学習課題を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・地域の一員として生活していくために、地域で暮らす多様な人々との関わりを考え、中学生の地域でできる活動として「地域の防災マップづくり」等の活動例を掲載している。 ・共生社会の実現と関連して、「持続可能な〇〇生活」としてSDGsとの関わりを考える活動例を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・掲載内容の順番を、ガイダンス、家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境、生活の課題と実践の順としている。 ・各内容とも興味・関心を記入するページを「主体的」、学習活動を「対話的」、振り返り生活に生かす学習を「深い学び」として、学習活動を示して構成している。 ・「家庭分野のガイダンス」に学習内容、「生活の見方・考え方」、学び方を図と言葉で掲載している。 ・動画等のデジタルコンテンツの資料がある学習内容のページの右下に二次元コードを掲載し、掲載内容の一覧を目次ページから確認ができるようにしている。 【分量・装丁】 ・判型はAB判にしている。 ・主たる調理実習例は見開き2ページで写真を用いて、手順が左から右へと流れるように示している。	【読みやすさの工夫】 ・内容やタイトルごとに色分けをして示している。 ・「ユニバーサルデザインフォントを使用している」と記載している。 ・重要な語句は、太字のゴシック体で表記している。 ・「図」「参考」に学習の資料等を写真や図、言葉で示している。 ・関連した内容が分かるように、他教科と関連する内容には「関連」マーク、伝統文化に関連する内容に「伝統」マークを掲載している。

調査研究報告書 ⑦

英語

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	NEW HORIZON English Course 1 NEW HORIZON English Course 2 NEW HORIZON English Course 3	<ul style="list-style-type: none"> 各単元では、英文を読み、概要や詳細を捉えた後、表現活動につなげる「Read and Think」や、まとめの活動である「Unit Activity」等の言語活動を設けている。 各技能領域に特化した言語活動である「Let's シリーズ」、複数の技能を統合的に活用する言語活動の「Stage Activity」を設けている。 小中接続のために、1年と2・3年は異なる単元構成にし、1年では小学校の復習「Unit 0」を最初に設け、単元 1～5は小学校で学習した内容を中心に扱っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、「Unit Activity」「Stage Activity」「Let's シリーズ」「Read and Think」等では、コミュニケーションの場面や状況・目的に応じて、生徒が情報や考えを理解したり伝え合ったりする言語活動を設定している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Scene」「Read and Think」等の本文中で語彙や文法事項等を示し、定着を図るための練習活動を「Practice」「Mini Activity」に設けている。 文法の使い方、言語形式、使用場面等をまとめた「Grammar for Communication」を設けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習事項を活用して、ペア等で言語活動を行う「Unit Activity」を各単元に、各技能領域に特化した言語活動である「Let's シリーズ」を各単元の間に、複数の技能を統合的に活用する言語活動の「Stage Activity」を各学年3回設けている。 読んだり聞いたりして概要や要点等を捉え、表現活動につなげる「Read and Think」「Let's シリーズ」等を設けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の扉に目標を示し、また、何ができるようになったか振り返ることができるように、「Unit Activity」後に目標達成確認欄の「CHECK」を、巻末に「CAN-DOリスト」を設けている。 英語学習のポイントや進め方等を系統的に取り上げる「学び方コーナー」を設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多文化共生に関連して、「Homestay in the United States」では、ホームステイ先での生活やトラブルについて取り上げるなど多様性・異文化理解に関連する題材を扱っている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 導入として扉の写真を使ってのやり取りなどを行い、「Preview」で対話から文法の使用場面を理解し、Scene①②で短めの文を読んで概要を把握し、「Read and Think①②」で英文を読んで概要と詳細を捉えた後、表現活動につなげ、最後にまとめの言語活動「Unit Activity」につなげる構成を基本としている。 1年は、2・3年と異なる単元構成で、小学校の復習「Unit 0」を1年の最初に設けている。また、1年の単元 1～5は小学校で学習した内容を中心に扱い、小学校での既習項目には「小学校マーク」を示し、巻末に一覧として掲載している。 動画や資料、単語と本文の音声等を利用して学習が進められるように二次元コードを設けている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 判型は、A4判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動のイメージがつかめるように絵や写真を掲載している。 1年では、手書き文字に近い書体を使用している。 「全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています」と記載している。 各活動には、どの技能を重点的に学ぶかを示すアイコンを掲載している。
9 開隆堂	SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3	<ul style="list-style-type: none"> 各単元では、まとまりのある英文を読んで題材について考える「Think」、本文の内容を自分の言葉で伝える「Retell」、表現活動である「Interact」等の言語活動を設けている。 会話活動「Try」、場面に特化した言語活動「Power-Up」、技能統合的な言語活動「Our Project」を設けている。 小中接続のために、小学校の復習「Get Ready」「Program 0」を1年の最初に、小学校で学習した表現等を使った会話活動「Try」を各単元に設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、「Interact」「Retell」「Our Project」「Power-Up」「Think」「Reading」等では、コミュニケーションの場面や状況・目的に応じて、生徒が情報や考えを理解したり伝え合ったりする言語活動を設定している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Scenes」で語彙や文法事項等を示し、定着を図るための練習活動を設けている。 文法の使い方、言語形式、ポイント等をまとめた「英語のしくみ」を設けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 会話活動「Try」、既習事項を活用する言語活動「Interact」、本文の内容を自分の言葉で表現する「Retell」を各単元に、場面に特化した言語活動「Power-Up」を15回、技能統合的な言語活動「Our Project」を8回設けている。また、「Retell」は3段階の難易度別にしている。 英文を読んで、発問に答える「Think」、概要等を捉え、表現活動につなげる「Reading」を設けている。また、聞いて内容や概要等を把握する活動を「Power-Up」等に設けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の扉に目標を示し、目標達成の確認欄を各活動後に設け、また巻末には、何ができるようになったか振り返ることができるように『英語で「できるようになったこと」リスト』を設けている。 イラストを頼りに生徒自ら表現に気付くことができるように、新出表現の導入をマンガ形式で示している「Scenes」を設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多文化共生に関連して、「Taste of Culture」では、いろいろな国の屋台料理について取り上げるなど多様性・異文化理解に関連する題材を扱っている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> とびらでは、写真やリスニングで題材への導入を行い、「Scenes」では言語材料を導入・練習し、「Think」でまとまりのある英文を読んで題材について考え、「Retell」で、その英文の内容を自分の言葉で伝え、最後に表現活動である「Interact」につなげる構成を基本としている。 小学校で学んだことを復習する「Get Ready」「Program 0」を1年の最初に設けるとともに、1年の単元 1～3は小学校での学習内容を中心に扱っている。また、小学校で学習した表現等を使った会話活動「Try」を各単元に、「小学校で学んだ単語」の一覧を巻末に設けている。 動画や本文の音声等を利用して学習が進められるように二次元コードを設けている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 判型は、AB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動のイメージがつかめるように絵や写真を掲載している。 1年前半では、手書き文字に近い書体、1年後半では一般的な活字体に近いフォントを使用している。 「カラーユニバーサル視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるように配慮をしています」と記載している。 各活動には、どの技能を重点的に学ぶかを示すアイコンを掲載している。
15 三省堂	NEW CROWN English Series 1 NEW CROWN English Series 2 NEW CROWN English Series 3	<ul style="list-style-type: none"> 各単元では、英文を読み概要や要点等を捉える「Use Read」や既習事項を活用する「Use Write / Speak」「Take Action! Listen / Talk」等の言語活動を設けている。 複数の技能を統合的に活用する言語活動の「Project」を設けている。 小中接続のために、小学校の復習「Hello, Everyone!」「Starter 1～3」を1年の最初に設けるとともに、1年の単元 1～3は、小学校での学習内容を中心に扱う構成にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、「USE Speak / Write」「Take Action! Listen/Talk」「Project」「USE Read」「Reading for Fun」等では、生徒がコミュニケーションの場面や状況・目的に応じて、情報や考えを理解したり伝え合ったりする言語活動を設定している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Get」等の本文中で語彙や文法事項等を示し、定着を図るための練習活動を設けている。 イメージ図等も加えながら、文法事項をまとめた「文法のまとめ」を設けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習事項を活用して言語活動を行う「USE Speak/Write」「Take Action! Listen/Talk」等を各単元に、複数の技能を統合的に活用する言語活動の「Project」を年間3回設けている。 英文を読んで、その概要や要点等を捉える「USE Read」「Reading for Fun」等を設けている。また、聞いてその概要等を捉え、表現活動につなげる「Take Action! Listen」等を設けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元のとびらで単元で扱う文法事項や言語活動等を示し、巻末には、何ができるようになったか振り返ることができるように「What Can I Do?」を設けている。 自律的な学習を支援するために、英語の学習方法等を示した「For Self-study」を設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多文化共生に関連して、「Languages in India」では、多言語国家インドについて取り上げるなど多様性・異文化理解に関連する題材を扱っている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> とびらでは、写真や絵を活用して導入を行うとともに、「Get」では英文を読んで活動に取り組むことで語彙や文法事項の定着を図り、「Use Read」で英文を読み概要や要点等を捉え、「Use Write / Speak」「Take Action! Listen/Talk」で言語活動に取り組む構成を基本としている。 小学校での学習を復習する「Hello, Everyone!」「Starter 1～3」を1年の最初に設けるとともに、1年の単元 1～3は、小学校での学習内容を中心に扱っている。 動画や単語、本文の音声等を利用して学習が進められるように二次元コードを設けている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 判型は、AB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動のイメージがつかめるように絵や写真を掲載している。 1年前半の書くためのモデルとなる英文には、オリジナルの手書きフォントを使用し、それ以外はユニバーサルデザインフォントやオリジナルのブロック体フォントを使用している。 「カラーユニバーサルデザインに配慮して編集しています」と記載している。 各活動には、どの技能を重点的に学ぶかを示すアイコンを掲載している。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	ONE WORLD English Course 1 ONE WORLD English Course 2 ONE WORLD English Course 3	<ul style="list-style-type: none"> 各単元では、表現活動「Think & Try!」や技能統合的な活動である「Task」等の言語活動を設けている。 会話のやり取りをする帯活動教材の「Activities Plus」、技能別の言語活動「Tips」、実践的なコミュニケーション活動である「Useful Expressions」、統合的な言語活動の「Project」を設けている。 小中接続のために、小学校の復習「Springboard 1～4」を1年の最初に設けるとともに、1年の単元 1～3は身近な生活の場面を扱うなど小学校と同じ設定にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、「Think & Try!」「Task」「Project」「Activities Plus」「Review」「Reading Lesson」等では、コミュニケーションの場面や状況・目的に応じて、生徒が情報や考えを理解したり伝え合ったりする言語活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 各単元の 1～3部の本文で語彙や文法事項等を示し、定着を図るための練習活動を各部に設けている。 文法の使い方や言語形式、使用場面等でまとめた「Grammar」を設けている。 【思考・判断・表現】 表現活動「Think & Try!」を各部に、本文と異なる場面の英文を開き、それについて話したり書いたりする言語活動「Task」を各単元に、会話のやり取りをする帯活動教材「Activities Plus」を巻末に、技能別の言語活動「Tips」と実践的なコミュニケーション活動「Useful Expressions」を各所に、統合的な言語活動の「Project」を3年間で8回設けている。 英文を読んで概要等を捉える「Review」「Reading」等を設けている。また、聞いて内容等を把握する活動を各部に設けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各部に目標を示すとともに、何ができるようになったか振り返ることができるように、各単元末に振り返り欄、巻末に「Can-Do 自己チェックリスト」を設けている。 自ら学習が進められるように、学習の方法や工夫を紹介した「How to Study」を設けている。 【かわさき教育プラン】 多文化共生に関連して、「Aya Visits Canada」では、カナダでのホームステイの体験について取り上げるなど国際・異文化理解に関連する題材を扱っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 扉の写真で導入を行い、各部の本文で英文を読み、文法の導入、練習をして定着を図り、「Review」で内容理解を深め、「Task」で技能統合的な言語活動に取り組み、「Grammar」で文法を確認する構成を基本としている。 帯活動として会話活動ができるように「Activities Plus」を設けている。 小学校で学んだことを復習する「Springboard 1～4」を1年の最初に設けるとともに、1年の単元 1～3は身近な生活の場面を扱うなど小学校と同じ設定にしている。 既習表現等を確認できる赤色マスキングシートや活動で使うカードを付属している。 本文等の音声を利用して学習を進められるように二次元コードを設けている。 【分量・装丁】 判型は、AB判にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 活動のイメージがつかめるように絵や写真を掲載している。 1年の導入期には読みやすさ、書きやすさに配慮した字形の書体、可読性の高い書体を使用し、1年の終盤から、ローマン体の書体を使用している。 色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています」と記載している。 各活動には、どの技能を重点的に学ぶかを示すアイコンを掲載している。
38 光村	Here We Go! ENGLISH COURSE 1 Here We Go! ENGLISH COURSE 2 Here We Go! ENGLISH COURSE 3	<ul style="list-style-type: none"> 各単元では、各部の英文の内容理解や既習事項を活用して表現活動を行う言語活動「Goal」等を設けている。 統合的な言語活動である「You Can Do It!」、本文の内容を自分の言葉で伝える言語活動の「Story Retelling」、会話活動の帯教材「Let's Talk!」を設けている。 小中接続のために、小学校の復習「Let's Be Friends!」を1年の最初に設けるとともに、1年の単元 1～3はマンガ形式のレイアウトにし、小学校での学習内容を中心に扱っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、「Goal」「You Can Do It!」「Story Retelling」「Let's Talk!」「Let's Read」等では、コミュニケーションの場面や状況・目的に応じて、生徒が情報や考えを理解したり伝え合ったりする言語活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 各単元の 1～3部の本文で語彙や文法事項等を示し、定着を図るための練習活動を各部に設けている。 文法を意味、言語形式、使用場面等でまとめた「Active Grammar」を設けている。 【思考・判断・表現】 既習事項を活用して表現活動を行う「Goal」を各単元に、統合的な言語活動である「You Can Do It!」を各学年に3回、実践的な言語活動である「Daily Life」、本文の内容を自分の言葉で伝える言語活動の「Story Retelling」と、会話活動の帯教材「Let's Talk!」を設けている。 読んだり聞いたりして概要や要点等を捉える「Let's Read」「Daily Life」等を設けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各単元の扉に目標を示すとともに、何ができるようになったか振り返ることができるように、言語活動「Goal」の後に振り返り欄、巻末に「CAN-DO List」を設けている。 自ら学習が進められるよう、「英語の学び方ガイド」「Your Coach」を設けている。 生徒の興味が高められるように、本文を3年間一続きの話にしている。 【かわさき教育プラン】 多文化共生に関連して、「Tour in New York City」では、ニューヨーク旅行での体験について取り上げるなど多様性・異文化理解に関連する題材を扱っている。また、外国や国際理解に関連する情報を扱う「World Tour」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 扉で絵や写真を使って題材への導入を行い、1～3部では本文を読み取り、語彙や文法事項の確認、練習を行い、「Goal」で言語活動を行う構成を基本としている。 各部にある本文の内容を自分の言葉で伝える「Story Retelling」、会話活動の「Let's Talk!」を帯学習教材として設けている。 小学校での学習を復習する「Let's Be Friends!」を1年の最初に設けるとともに、1年の単元 1～3はマンガ形式のレイアウトにし、小学校での学習内容を中心に扱っている。また、巻末の「Word List」「基本文のまとめ」は小学校の既習事項にマークを示している。 動画や本文、基本文の音声等を利用して学習を進められるように二次元コードを設けている。 【分量・装丁】 判型は、AB判にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 活動のイメージがつかめるように絵や写真を掲載している。 小中接続期には、手書き体、1年後半はブロック体を使用している。 「カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の観点から、全てのページについて専門家による校閲を行っています」と記載している。 各活動には、どの技能を重点的に学ぶかを示すアイコンを掲載している。
61 啓林館	BLUE SKY English Course 1 BLUE SKY English Course 2 BLUE SKY English Course 3	<ul style="list-style-type: none"> 各単元では、各部に既習事項を活用して、会話などを行う「Use」や英文の内容理解をする「Read & Think」や単元末に発表活動の「Express Yourself」、技能別の活動「Let's Talk」等の言語活動を設けている。 技能統合的な言語活動である「Project」を設けている。 小中接続のために、1年は、2・3年と異なる単元構成にするとともに、小学校の復習「Let's Start!」を1年の最初に設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、「Use」「Express Yourself」「Project」「Read and Think」等では、コミュニケーションの場面や状況・目的に応じて、生徒が情報や考えを理解したり伝え合ったりする言語活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 各単元の 1～3部の本文で語彙や文法事項等を示し、定着を図るための練習活動「Practice」等を各部に設けている。 文法を使い方や言語形式、使用場面等でまとめた「Targetのまとめ」を設けている。 【思考・判断・表現】 既習事項を活用して、会話などを行う「Use」を各部に、既習事項を活用して行う表現活動である「Express Yourself」を各単元に、技能別の言語活動「Let's Talk」「Let's Listen」「Let's Read」を各所に、統合的な言語活動である「Project」を3年間で8回設けている。 読んだり聞いたりして概要等を捉える「Read and Think」「Let's Listen」等を各単元に設けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各単元の扉と各部の最初に目標を示すとともに、何ができるようになったかを振り返ることができるように、巻末に「Can-Do リスト」を設けている。 生徒が主体的に学習を進められるように、「Practice」「Use」では、活動の前に例を提示している。 【かわさき教育プラン】 多文化共生に関連して、「Food Cultures」では、世界の食文化について取り上げるなど多様性・異文化理解に関連する題材を扱っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 Unit扉の写真で導入を行い単元で扱うテーマ等を確認し、1～3部の「Get Ready」で本文を扱い、「Practice」で文法事項を練習し、それを実際に活用してみる「Use」につなげ、その後の「Read & Think」で英文を読み、「Express Yourself」で発表の言語活動を行い、「More Information」で内容に関する情報を読み理解を深める構成を基本としている。 1年は、2・3年と異なる単元構成にするとともに、小学校での学習を復習する「Let's Start!」を1年の最初に設けている。 単語、本文の音声等を利用して学習を進められるように二次元コードを設けている。 【分量・装丁】 判型はAB判にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 活動のイメージがつかめるように絵や写真を掲載している。 1年では、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。メディア・ユニバーサル・デザイン協会に認証を申請中です」と記載している。 各活動には、どの技能を重点的に学ぶかを示すアイコンを掲載している。

令和3年度使用教科用図書審議結果 ⑦

道徳

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との 関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新訂 新し い道徳1 新訂 新し い道徳2 新訂 新し い道徳3	<ul style="list-style-type: none"> ・学習するテーマや教材を通して考えることを示すことで、授業の進め方が見えるように工夫している。 ・問題解決的な学習や道徳的の行為に関する体験的な学習など様々な学習方法ができるようにしている。 ・学んだことが振り返られるよう、巻末に学習の記録を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、人間としての生き方についての考えを深めることを目指して、生きて働く道徳性を育めるような学習ができるように工夫している。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめの問題や生命の尊さについてユニット学習(教材やコラム等を組み合わせて一定期間に集中してあるテーマを学ぶ学習)を設定している。 ・情報モラルやキャリア教育、SDGsなど現代的な課題について学習できる教材を掲載している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業開きに使えるページや話し合いの手引きのページを掲載している。 ・学習の意識付けにつながるような漫画と投げかけの言葉を各学年5つずつ掲載している。 ・いじめの問題や生命の尊さについて、多面的・多角的に考えられるよう、3つの教材をユニット学習として設定している。 ・各学年に2つずつ、道徳的の行為に関する体験的な学習ができる教材、問題解決的な学習ができる教材を掲載している。 ・教材の最後に「考えよう」「自分を見つめよう」を設け、問いを掲載している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他教科とのつながりがわかるように、教材のタイトルの下に関連する教科を示している。 ・付録の心情円を使用できる教材には記号を付けて示したり、メモができる記入欄「つぶやき」を設けたりしている。 ・巻末に学期ごとに心に残った学習を振り返ることができるワークシートを設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いのち・心の教育に関連して、いじめの問題、生命の尊さに関連する教材は、1つのテーマで学習できるように関連させて掲載している。 ・人権尊重教育に関連して、国際理解や他者理解について多様性を尊重し様々な人物を取り上げた教材を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に道徳科の学び方を示すページを掲載している。 ・巻末に47都道府県の郷土資料を各学年に分けて掲載している。 ・新聞や漫画、小学校の定番教材などを扱ったものを掲載している。 ・切り取り式の心情円、ホワイトボードを付録として付けている。 ・画像や動画など関連資料を活用できるように教材にマークを表示し、裏表紙に二次元コードを掲載している。 ・巻末にワークシート「自分の学びをふり返ろう」を設けている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AB判を採用している。 ・28のテーマで35教材を掲載し、付録教材5つを掲載している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目A～Dの視点が分かるように、教材タイトル上部にはマークで、タイトル全体を色分けで表示している。 ・各教材の冒頭に学習テーマを提示している。 ・「ユニバーサルデザインフォントを採用しています」と記載している。 ・「すべての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています」と記載している。
17 教出	中学道徳1 とびだそう 未来へ 中学道徳2 とびだそう 未来へ 中学道徳3 とびだそう 未来へ	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって授業に取り組めるよう、教材ごとの問いを工夫したり、学校行事や体験活動等との関連を図りやすい教材を配置したりしている。 ・問題解決的な学習や道徳的の行為に関する体験的な学習など多様な指導方法で多面的・多角的に考えられるような教材を掲載している。 ・1時間ごと、学期ごと、学年末に自分の学びを振り返る用紙を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、自分自身を深く理解し、人間としてよりよい生き方を模索し続けていく態度を養うため、自分に引きつけて考えたり、多面的・多角的に考えたりすることができるような教材の工夫をしている。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いじめや差別のない社会」「生命の尊さ」についてユニット学習を設定している。 ・「生命の尊さ」「情報モラル」「社会参画」など現代的な課題について学習できる教材を掲載している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入で意識付けができる問いを教材タイトルの下に示している。 ・ユニット学習の最後に自分との関わりで考えられる内容のコラムを掲載している。 ・各教材の最後に学習の流れを示す「学びの道しるべ」を設け、自分との関わりや多面的・多角的に考える問いを3つ掲載している。 ・各学年に1～2ヶ所、道徳的の行為に関する体験的な学習など、学習の流れを示す「やってみよう」を設けている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他教科と関連付け、SDGsの達成に向けた教育の充実が図れる教材を掲載している。 ・学年に応じて内容項目の重点化を図り、学校行事の時期などを考慮して教材を配置している。 ・巻末に、学期末・学年末に振り返る記録用紙を設けている。また、教材ごとに記録する一覧表を設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いのち・心の教育に関連して、いじめの問題を直接的に扱った教材や、差別を許さない心の育成を間接的に支える教材を組み合わせて掲載している。 ・郷土に関連する教材として、2学のコラム「へボン塾」、「都道府県にゆかりのある人物と、その言葉」に神奈川県出身である小説家の吉川英治氏や物理学者の小柴昌俊氏を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に道徳科の学び方を示すページ掲載している。 ・巻末に生徒を励ますメッセージとして「これからを生きる皆さんへ」を設けている。 ・漫画や絵本、歌詞などで構成された教材を掲載している。 ・画像や動画など関連資料を活用できるように教材に「まなびリンク」マークを表示し、目次に二次元コードを掲載している。 ・活動を示す「やってみよう」に考えを記入する欄を設けている。 ・巻末にワークシート「道徳の学びを振り返ろう」を設けている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B5判を採用している。 ・30教材を掲載し、補充教材として5教材を掲載している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目A～Dの視点ごとにマークを使用し、教材タイトルの上部に表示している。 ・「ユニバーサルデザインフォントを使用しています」と記載している。 ・「カラーユニバーサルデザインに配慮しています」と記載している。 ・中学校で学習する漢字は、初出箇所に振り仮名を付け、固有名詞には全て振り仮名を付けている。 ・1年の前半は他の教材より大きい文字を使用している。
38 光村	中学道徳1 きみが いちばん ひかる とき 中学道徳2 きみが いちばん ひかる とき 中学道徳3 きみが いちばん ひかる とき	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の配列について、年間を3つのシーズンに分け、各シーズンは「学びのテーマ」に応じて複数の教材を組み合わせた「ユニット」で構成している。 ・何を学ぶのかを意識することができるよう、「考えよう」「見方を変えて」「つなげよう」を設けている。 ・1時間ごと、シーズンごとに感じたことや考えたことを振り返る学びの記録を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、一人一人が自信をもって生きていくために、自分のよさや可能性を認めたり、あらゆる他者を価値ある存在として尊重したりすることなどができるような学習が進められるように工夫している。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を3つのシーズンに分け、その中で生徒の成長と学校生活を意識し、関連性の高い内容項目でユニット学習を設定している。 ・いじめの問題、情報モラル、社会との関わりなど、関連性の高いものをユニット学習として配置している。 ・「現代的な課題と向き合う」というテーマのもと、国際理解や環境、共生について学習できる教材を掲載している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材を通して何を考えるのかを示すために、問いを2つ「考えよう」に掲載している。 ・自分との関わりで考えるために、「深めたいむ」を4ヶ所設けている。特に「いじめ問題」と「情報モラル」については、各学年に「深めたいむ」を設けている。 ・「考えよう」の問い以外に多面的・多角的な見方や考え方ができるよう、「見方を変えて」を設定している。 ・各学年に1教材、道徳的の行為に関する体験的な学習の取組例を「見方を変えて」の中で示している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他教科や日常生活、他教材との関連、関連する図書の紹介などを「つなげよう」に示している。 ・巻末に1時間ごとの記録とシーズンごとの記録ができる振り返りシートを設けている。 ・学年の最後に1年間で学んだことを振り返る「道徳の学びを振り返ろう」を設定している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いのち・心の教育に関連して、「いじめの問題」「人権教育」について、様々な内容項目から考えられる教材を掲載している。 ・人権尊重教育に関連して、他者によりよく関わるスキルやこつを学ぶコラム「人と人との関係作り」を設けている。 ・郷土に関連する教材として、3年に厚木市立中学校、付録として、郷土玩具、箱根駅伝を取り上げている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初の教材に内容項目を限定しない「道徳の授業を始めよう」、最終の教材に「道徳の学びを振り返ろう」を位置付けている。 ・コラムと付録に「人と人との関係作り」を掲載している。 ・写真や漫画を教材にしたもの、小学校の定番教材などを扱ったものを掲載している。 ・朗読や動画、画像など関連資料が活用できる二次元コードを教材タイトルの下に掲載している。 ・巻末には、ポートフォリオ形式の「学びの記録」を設けている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B5判を採用している。 ・31教材(内容項目を限定しない2教材を含む)と補充教材4教材を掲載している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目A～Dの視点が分かるように、教材タイトル上部にはマークで、タイトル全体を色分けで表示している。 ・「ユニバーサルデザイン書体を使用しています」と記載している。 ・「カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の観点から、すべてのページについて専門家による校閲を行っています」と記載している。 ・中学校で学習する漢字には振り仮名を付け、固有名詞には教材初出箇所に振り仮名を付けている。 ・学習の手引きは本文と区別して横書きで示している。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との 関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日文	中学道徳あすを生きる1 中学道徳あすを生きる1 道徳ノート 中学道徳あすを生きる2 中学道徳あすを生きる2 道徳ノート 中学道徳あすを生きる3 中学道徳あすを生きる3 道徳ノート	・発達の段階を踏まえて年間を3つに分け、学校行事や体験活動等との関連が図れるように教材の配置を工夫している。 ・問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習に適した教材には、「学習の進め方」を設けている。 ・別冊「道徳ノート」は、発問を空欄にし、どんな授業展開にも対応できるようにしたり、学期ごとに振り返るページを設けたりしている。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、一人一人がよりよく生きる喜びと誇りをもって、他者と共に社会を創造していくことを目指し、主体的な学びや「いま」と「これから」の社会の課題に対応できる学習ができるように工夫している。	【知識及び技能】 ・年間を3つのシーズンに分け、学校生活の流れと1年間の成長を考慮した教材配置にしている。 ・いじめの問題や情報モラル、キャリア教育、SDGsなど現代的・社会的課題に関する内容の教材を掲載している。 ・「いじめと向き合う」「よりよい社会と私たち」というテーマでユニット学習を設定している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各教材に「考えてみよう」を設け、中心的に考える発問例を掲載している。 ・問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習ができる教材の後に、「学習の進め方」を例示している。 ・ユニット学習は視点を変える、関連性の高い内容項目を結びつけるなど、多面的・多角的に考えられる構成にしている。 ・各学年に4つの問題解決的な学習ができる教材、各学年に2つの道徳的行為に関する体験的な活動ができる教材を掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学んだことを生かすために、教材の最後に「自分に＋1(プラスワン)」を設けている。 ・日常生活や他教科に関連するコラムを掲載している。 ・自分の考えや友達の考えを記入したり、学期ごとに振り返ったりできる別冊「道徳ノート」を設けている。 ・別冊「道徳ノート」の「考えてみよう」「自分に＋1」の欄が空欄になっており、発問を柔軟に設定できる形になっている。 【かわさき教育プラン】 ・いのち・心の教育に関連して、いじめの問題に関する教材は知識を深めるコラムとスキルを身に付けるコラムの両方を掲載している。 ・学ぶこと、働くことを実感することに関連して、働くことに関する教材や社会への参画に関する教材を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に道徳科の学び方を示すページを掲載している。 ・各教材の最初のページに登場人物の写真や絵を掲載している。 ・詩、漫画を教材にしたものを掲載している。 ・画像や動画など関連資料が活用できるように教材にマークを表示し、目次に二次元コードを掲載している。 ・本冊に別冊を挟み込み、一体となるように製本している。 ・別冊「道徳ノート」にはドット罫が入っている。 ・別冊「道徳ノート」の巻末に「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」を設けている。 【分量・装丁】 ・B5判を採用している。 ・35教材を掲載している。	【読みやすさの工夫】 ・内容項目A～Dの視点をマークと色で見分けられるようにし、教材タイトルの上部に表示している。 ・「ユニバーサルデザインフォントを採用しています」と記載している。 ・「カラーユニバーサルデザインに配慮しています」と記載している。 ・中学校で学習する漢字には振り仮名を付けている。
224 学研	新・中学生の道徳明日への扉1 新・中学生の道徳明日への扉2 新・中学生の道徳明日への扉3	・キーフレーズを入れて教材に興味を寄せられるようにしたり、主題名を示さず、気付きや考えを促すようにしたりしている。 ・多様な学び方ができるように、話し合いの流れや演じながら考える活動等を「深めよう」に示している。 ・巻末に心の成長を振り返る「心の四季」や学期ごとの振り返りができる「学びの記録」を掲載している。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、自ら主体的に課題を発見し、考えを深めたり、学びの多様な展開で多面的・多角的に考えたりすることができるような教材の工夫している。	【知識及び技能】 ・「夢に向かって共に輝く」(キャリア教育)「地球と地域の未来のために」(SDGs)というテーマでユニット学習を設定している。 ・情報モラルや防災教育、福祉に関する教育などの現代的な課題について学習できる教材を掲載している。 ・「命の教育」を重点にし、他の内容項目から命について考えられる教材を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・学習の流れ「考えを深める4つのステップ」を巻頭で提示し、具体例を各学年6～8ヶ所の「深めよう」で示している。 ・教材に興味を寄せられるよう、教材の一部抜粋などキーフレーズをタイトルの下に掲載している。 ・いじめの問題について、複数の内容項目から多面的・多角的に考えられるように教材を掲載している。 ・各教材の終わりに「考えよう」を設け、考えるきっかけとなる問いを掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・内容項目や日常生活との関連を図る「クローズアップ」を掲載している。 ・巻頭に自分を見つめることができる書き込み、巻末に心に残った言葉や学期の学びの記録を記入できる欄を設けている。 ・「深めよう」「クローズアップ」に自分との関わりで考えられる問いや自分の考えを記入できる欄を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・いのち・心の教育に関連して、いじめの問題、生命を尊重につながる観点から、各学年に「メンタルトレーニング」「アンガーマネジメント」「自己肯定感」に関する内容を「クローズアップ＋(プラス)」に掲載している。 ・郷土に関連する教材として、2年で川崎市のジャイアンツ寮(松井秀喜元野球選手)の話を「クローズアップ」に掲載している。 ・互いに尊重し合う意識や態度の育成に関連して、1年〈仲間と生きる〉2年〈社会で生きる〉3年〈世界で生きる〉とテーマを設定し、1年で「友情・信頼」、2年で「社会参画・公共の精神」、3年で「国際理解・国際貢献」の教材を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に道徳科の学び方を示すページを掲載している。 ・写真やグラフ、図などで構成した教材を掲載している。 ・思いや気付きを自由に書けるよう、各教材にメモ欄を設けている。 ・画像や動画など関連資料を活用できるように教材タイトルの下にマークを表示し、目次に二次元コードを掲載している。 ・巻末に「学びの記録」を設けている。 【分量・装丁】 ・AB判を採用している。 ・35教材を掲載している。	【読みやすさの工夫】 ・内容項目A～Dの視点が分かるように、教材タイトル上部にはマークで、タイトル全体を色分けで表示している。 ・「ユニバーサルデザインに配慮して制作しています」と記載している。 ・「いのち」「情報モラル」マークを設け、関連した教材に掲載している。 ・中学校で学習する漢字や固有名詞には振り仮名を付けている。
232 廣あかつき	中学生の道徳自分を見つめる1 中学生の道徳ノート自分を見つめる1 中学生の道徳自分を見つめる2 中学生の道徳自分を見つめる2 中学生の道徳自分を見つめる3 中学生の道徳自分を見つめる3	・道徳上の課題を明確に捉えて学習に取り組めるよう、「考える・話し合う」を設けている。 ・問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習ができるような問いを掲載している。 ・別冊「道徳ノート」には1時間ごとの振り返りや学期末や学年末に活用できる「心に残っている授業の記録」を設けている。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、豊かな情操と道徳心を培うため、ともに考えて話し合うことや自己を見つめて考えを書くことができるような教材の工夫をしている。	【知識及び技能】 ・「いじめ防止・人権尊重」「生命尊重」を重点とし、関連する内容項目は配当時間を増やして掲載している。 ・情報モラル、共生、持続可能な社会など現代的な課題を巻末にまとめて掲載している。 ・学習指導要領の「指導内容の重点化」に示された内容項目の教材を3つずつ掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・学習の見通しがもてるよう、各教材に学習の手がかりを掲載している。 ・問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習ができる教材を掲載している。 ・多面的・多角的な見方・考え方ができるよう、「考える・話し合う」に問いを掲載している。 ・各教材の最終ページに先人や著名人の格言・名言を掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・別冊「道徳ノート」の巻末に学期や年間のまとめで使用できる「心に残っている授業の記録」や心に残った授業のチェックシート「心のしおり」を設けている。 ・教材と合わせて活用できる資料「thinking」を各学年に3つずつ掲載している。 ・巻末に他教科との関連を一覧で掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・いのち・心の教育に関連して、いじめの問題に関する巻末特集は内容項目A～Dの視点から考えられるようにしている。 ・人権尊重教育に関連して、1年で川崎市出身である競泳の成田真由美選手の話に掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に「道徳の時間とは」を掲載している。 ・巻末にいじめの問題、情報社会、持続可能な社会についての特集を掲載している。 ・「インターネット」の印が付いた教材は、目次の二次元コードから画像や動画など関連資料を活用できるようにしている。 ・別冊「道徳ノート」は補助資料と学習の記録欄で構成している。 ・教材の最初のページには、別冊ノートの何ページと対応しているかを表示している。 ・本冊に別冊を挟み込み、一体となるように製本している。 ・別冊「道徳ノート」に「心に残っている授業の記録」を設けている。 【分量・装丁】 ・AB判を採用している。 ・35教材を掲載している。	【読みやすさの工夫】 ・内容項目A～Dの視点が分かるように、教材タイトル上部を色分けして表示している。 ・「カラーユニバーサルデザインに配慮して作られています」と表記し、「CUDマーク取得申請中」と記載している。 ・1年は本文の文字を大きめにしている。 ・未習の漢字には振り仮名を付けている。固有名詞には教材初出のみ付けている。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との 関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
233 日科	道徳 中学 1 生き方 から学ぶ 道徳 中学 2 生き方 を見つめる 道徳 中学 3 生き方 を創造する	<ul style="list-style-type: none"> 身近な事例から道徳的価値を考えられるよう、日常生活における話題を教材にしたものを掲載している。 多面的・多角的に捉えられるよう、身近な教材を家族や友達、学校や社会といった様々な視点から考えられるように工夫している。 発達の段階を踏まえ、学年間のつながりを重視し、教材のストーリーやワークシートに連続性をもたせる工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、答えが一つではない道徳的課題を自分の課題として捉え、向き合うことができるような教材の工夫をしている。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめの問題に関して「生命の尊さ」「寛容」「人権」などから考えられる教材を掲載している。 情報モラル、キャリア教育に関する教材は、生徒の身近な内容や発達段階の段階を踏まえたものを掲載している。 インクルーシブ教育、伝統と文化の尊重など多様な価値を受け入れることを重点としている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分との関わりで考えられるよう、「考え、話し合ってみよう」を設けている。 教材で学んだことに関する関連資料「もっと知りたい」を掲載している。 多面的・多角的に捉えらえるよう、様々な視点から考えを深めたり先人の生き方から感じたりする教材を掲載している。 先人、著名人の体験や夢から生き方や知恵などを感じることができるような教材を掲載している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活につながるように、関連資料「込められた思い」「届けたい言葉」を掲載している。 巻末に自分自身の成長や道徳科の学びを振り返るワークシートを設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> いのち・心の教育に関連して、いじめを許さない心を生命の尊さから学びを深める教材を掲載している。 キャリア教育、人権教育、福祉などに関連して、価値の多様性について考える教材を掲載している。 郷土に関する教材として、3年で二宮尊徳の生涯について掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭に道徳科の学び方を示すページを掲載している。 学習指導要領に示されている内容項目A～Dの順に教材を配置している。 読み物教材で構成している。 デジタルコンテンツに関する案内はない。 巻末に「〇年生の心の成長を振り返りましょう」を設けている。 表紙には、伝統と文化、新しい技術の写真を掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> B5判を採用している。 37教材を掲載している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容項目A～Dの視点ごとに色を分けて教材タイトル上部に表示している。 教材文は同じ書体を使用している。 ユニバーサルデザインに関する記載はない。編修趣意書に「生徒が学びやすく、先生が教えやすい紙面を目指して編集を行いました」と記載している。